

平成24年度 ウチナージュニアスタディー 報告書

Uchina Junior Study 2012 Report



沖縄県

目次

1 概要

- (1)ウチナージュニアスタディー事業概要.....1
- (2)スケジュール.....2
- (3)総括・成果.....3
- (4)Tシャツ・ロゴマーク作成.....4
- (5)組織運営図.....5
- (6)参加者名簿.....6

2 実施内容

- (1)事前学習.....13
- (2)学習プログラム
 - [1日目] 7月24日(月).....14
 - [2日目] 7月25日(火).....20
 - [3日目] 7月26日(水).....26
 - [4日目] 7月27日(木).....30
 - [5日目] 7月28日(金).....34
 - [6日目] 7月29日(土).....38
 - [7日目] 7月30日(日).....43

3 参加者感想文.....51

4 参考資料.....61

ウチナージュニアスタディー(UJS) 事業概要

● 趣 旨

海外の沖縄県系人子弟を本県に招待し、県内の児童生徒とともに、沖縄の歴史・文化・自然などの体験学習を通して、母県・沖縄との絆を深めることにより、海外の沖縄県系人社会の発展とウチナーネットワークを担う次世代の人材育成を図る。

● 事業内容

- (1)実施時期 平成24年7月24日(火)～7月30日(月)
・来沖日:7月19日(木)、7月22日(日)
・離沖日:7月31日(火)、8月1日(水)、8月3日(金)

- (2)参加者 30名

○海外参加者 13～19歳までの海外県系人 14名

○国内参加者 沖縄県内の中学・高校生 13名
兵庫県からの高校生 1名

○青年リーダー 海外 1名
県内 1名

①海外・国別内訳

・ブラジル連邦共和国	3名	・アメリカ合衆国	6名
・アルゼンチン共和国	1名	・メキシコ合衆国	1名
・ペルー共和国	1名	・カナダ	1名
・ポリビア多民族国	1名		
・ドイツ	1名		

②海外・世代別内訳

・海外参加者 2世=6名 3世=4名 4世=4名

- (3)スタッフ

○沖縄県職員・国際交流員・スタッフ・ボランティア等 約40名

- (4)学習プログラム

①自然学習

沖縄の自然や動植物等に触れ合いながらその大切さを学ぶ。

②歴史学習

沖縄の歴史的な史跡等を巡り、沖縄が琉球王国だった頃の歴史とロマンに触れる。

③芸能、工芸体験学習

沖縄の芸能、工芸体験学習を行う。

④平和学習

沖縄の戦跡等を巡りながら、平和の意味を考える。

⑤社会学習

沖縄県庁表敬訪問、沖縄県立博物館・美術館見学等をとおして沖縄の現状を学ぶ。

⑥移民学習

沖縄の移民の歴史を学び、世界に広がるウチナーネットワークを理解する。

☆ UJS2012全行程

月日	7/23(月)	7/24(火) 1日目	7/25(水) 2日目	7/26(木) 3日目	7/27(金) 4日目	7/28(土) 5日目	7/29(日) 6日目	7/30(月) 7日目
6:30			6:30 起床	6:30 起床		6:30 起床		
7:00			7:00 朝食	7:00 朝食	7:00 起床	7:00 朝食	7:00 起床	
8:00		7:30 主催者・スタッフ集合 8:00 参加者受付開始	8:00 レクセンター出発 注意事項の確認 8:30 県庁到着 8:45 県知事表敬式典 (歓迎セレモニー、記念撮影) 9:30 県庁出発	8:00 レクセンター出発 車内にて前日の実施アンケートの回収	7:30 朝食	8:00 出発	7:30 朝食 8:30 出発	
9:00	9:00 スタッフ集合 6~11期生10名含む 9:30 受付開始	8:50 参加者受付終了 9:00 開講式 ～オリエンテーション ・概要説明・確認 ・学習ツール配布 ・事業アンケートの配布、説明	10:00 歴史学習 ●首里城 ●金城町の石畳	9:30 OIIST到着 ●OIIST概要説明 ●OIIST構内見学	9:00 自然学習(山・川) ●東の沢 ・トレッキング	10:00 平和学習 10:00 記録フィルム上映 10:15 ●平和折念資料館見学	9:00 テンفس館4Fレッスンルーム 移民の歴史・社会学習 ワークショップ	
10:00	10:00 参加者集合 県内参加者 オリエンテーション (かんぼレクセンター)	①参加者自己紹介 ②班分け、班長紹介 ③言語学習 ④海外参加者による移民の経緯	12:00 昼食	11:30 OIIST出発 ※バス車内にて昼食	12:00 トレッキング終了	11:15 平和の礎見学 11:45 平和折念公園出発 12:00 昼食		11:00 会場設置開始(テンفس館) スタッフ・ボランティア集合
11:00		PA完備 飲物配布	12:00 昼食	12:30 昼食	12:30 昼食		12:00 昼食	
12:00	12:00 昼食	12:00 昼食 1Fレストラン	文化・歴史学習 13:00 沖縄県公文書館見学 復権40周年特別展「復権への道」見学	自然学習(海) 12:45 美ら海水族館見学	12:30 昼食 (エイサー練習まで休憩・洗濯)		12:30 参加者受付 ・前日の事業アンケートの回収	
13:00		13:00～引き続き自国の概要紹介～	15:00 公文書館出発 文化学習 15:30 那覇市伝統工芸館 伝統工芸体験 ※紅型・首里織・琉球漆器	14:30 イルカショー見学		13:30 社会学習(街・人々) ●マテグワー散策 ※ガイド 卒業生ボランティア	13:00 ワークショップ再開	13:00～14:30 リハーサル
14:00	13:30 ワークショップ開始 沖縄NPOセンターによる 出前講座		16:45 那覇市伝統工芸館出発 17:00 かんぼレクセンター到着 移民の歴史・社会学習 17:15 特別講演会 沖縄ヒューマンキャピタル 金城氏 ※床にその事業歴をのびスカートはNG	15:15 ●エメラルドビーチ到着 海水浴 ビーチレクリエーション	16:00 エイサー講習 (3日目)	16:00 散策終了 文化・歴史学習 16:30 県立博物館「常設展示」見学	12:30 参加者受付 ・前日の事業アンケートの回収	
15:00		PA完備 飲物配布	18:10 会場転換 18:30 ウェルカムパーティー 夕食・かんぼレクセンター ※参加人数80名程度	17:00 エメラルドビーチ出発	17:30 夕食 (バーベキュー)	18:00 県立博物館出発 18:15 かんぼレクセンター到着	13:00 ワークショップ再開	14:30 来賓・一般参加者受付
16:00	15:30 終了 15:45 スタッフ打合	16:30 会場準備～途中休憩～ 荷物部屋移動 17:00 交流プログラム ※進行・演出 卒業生ボランティア	19:30 エイサー講習 (1日目)	18:30 つつじエコパーク到着	19:00 夕食	18:45 夕食	15:00 学習終了・エイサー講習 (5日目)	15:00～16:15 学習成果発表会
17:00		・事業アンケートの概要説明・配布	21:00 ～日程終了～ スタッフミーティング	20:00 エイサー講習 (2日目)	19:00 夕食	19:00 交流プログラム ～キャンプファイヤー ※進行・演出 卒業生ボランティア	16:00 講習終了・着替え開始 ・フェイスペインティング (出身国の国旗シール)	16:20～16:40 修了式 16:40 さよならパーティー準備
18:00		～日程終了～ スタッフミーティング	22:00 就寝	21:00 ～日程終了～ スタッフミーティング	20:00 エイサー講習 (2日目)	21:00 夕食	17:00 琉球国祭り太鼓演奏 テンプス前ポケットパーク 17:30 参加者エイサー演奏 テンプス前ポケットパーク	17:00 さよならパーティー ※進行・演出 卒業生ボランティア ※参加人数200名程度
19:00		22:00 就寝		21:00 ～日程終了～ スタッフミーティング	21:00 夕食	19:45 エイサー講習 (4日目)	18:00 終了 ・事業アンケートの配布 18:30 解散	16:20～16:40 修了式 16:40 さよならパーティー準備
20:00				22:00 就寝	22:00 就寝	19:45 エイサー講習 (4日目)	18:00 終了 ・事業アンケートの配布 18:30 解散	17:00 さよならパーティー ※進行・演出 卒業生ボランティア ※参加人数200名程度
21:00				22:00 就寝	22:00 就寝	19:45 エイサー講習 (4日目)	18:00 終了 ・事業アンケートの配布 18:30 解散	16:20～16:40 修了式 16:40 さよならパーティー準備
22:00				22:00 就寝	22:00 就寝	19:45 エイサー講習 (4日目)	18:00 終了 ・事業アンケートの配布 18:30 解散	17:00 さよならパーティー ※進行・演出 卒業生ボランティア ※参加人数200名程度
宿泊地		かんぼレクセンター	かんぼレクセンター	つつじエコパーク	つつじエコパーク	かんぼレクセンター	ホームステイ	ホームステイ

スケジュール(日本語、Japanese)

総括・成果

平成13年度から過去11回実施してきた「ジュニアスタディーツアー」は、昨年度まで、541名のウチナーンチュの若者が参加する沖縄県の主要な国際交流事業であり、今年度より「ウチナージュニアスタディー」と名称を変更し、新たなスタートを切った。

今年度の参加者は、海外参加者14人、県内参加者13人、今回特別枠として沖縄県と友愛交流を締結している兵庫県から1人、そして新たに海外、県内から1人ずつ選出した「青年リーダー」を含めた合計30人でのツアーとなった。

今年度より新たに取り入れた「青年リーダー」は、過去の参加者であり、今回の参加者をフォローし過去の経験をフィードバックするとともにツアースタッフの役割を担うことを期待して導入したものである。彼らが、実際にツアーにおいてどのような役割を果たし、参加者にどのような影響を与えるのか未知数であったが、参加者からは「アドバイスをもらった」、「みんなのまとめ役になっていた」などの感想があり、一定の成果を上げることが出来た。課題としては、「青年リーダー」の役割をより明確にし、参加者はもちろん青年リーダー自身も迷わないような立場作りをしていく必要がある。

ツアー期間中は、天候にも恵まれ、病気やけが人が出ることもなく、滞りなく実施することができた。

参加者は言葉の壁を難なく乗り越え、ツアーを楽しむとともに、ツアーを通じて一人一人がウチナーンチュのアイデンティティーについて考え、また、大きな経験を得ることができた。なにより、参加者同士の強い絆と繋がりが得られたことが収穫である。

毎年、ツアー運営に大きな力となっている本事業の卒業生ボランティアスタッフらは、期間中延べ49名超が応援に駆けつけ、積極的にセレモニーやイベントの企画・運営に携わり、ツアーを大いに盛り上げてくれた。

卒業生と参加者が交流する場を設けることで互いの繋がりを感じ、深い友情が芽生え、継続的なウチナーネットワークを構築できるはずである。さらに、ウチナージュニアスタディーの趣旨である「ウチナーネットワークを担う次世代の育成」、「海外の沖縄県系人社会の発展」へと導かれることが大いに期待できる。



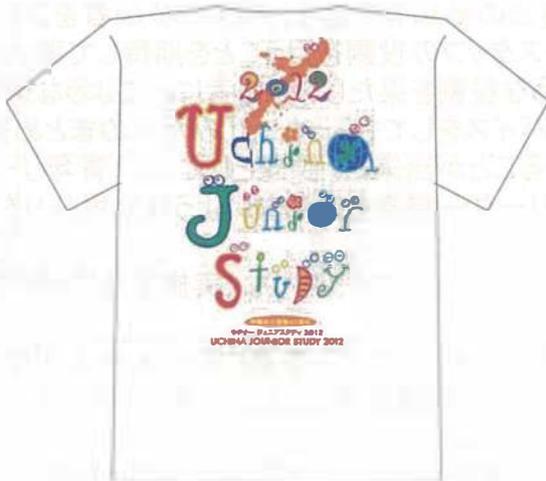
上原良幸副知事を囲んでの記念撮影(沖縄県庁舎中庭)

Tシャツ・ロゴマーク 作成

ウチナージュニアスタディオリジナルTシャツを参加者・ボランティア・スタッフの全員に配布し、県庁表敬・さよならパーティーの際に着用。全体の一体感を醸造し、規律ある団体行動を促した。また、最後にはみんなで寄せ書きし合うことにより、思い出の品として持ち帰った。

参加者

スタッフ・ボランティア用



配布するTシャツは、参加者(白)とスタッフ・ボランティア(黒)の2種類を作成。



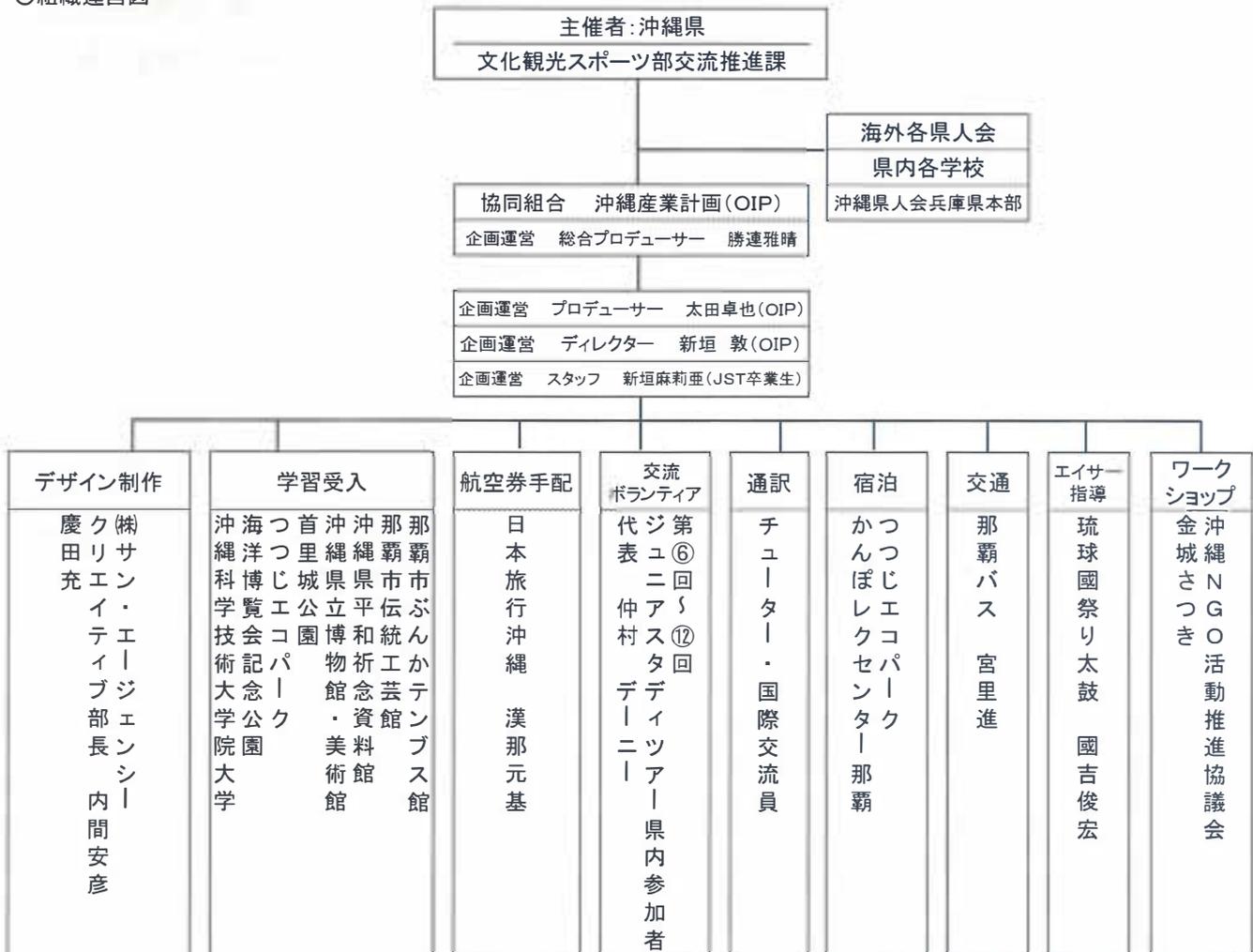
ロゴマーク制作意図

今回のロゴマークも、毎年、さまざまな出会いと感動を築き上げてきた本事業の、各年のイメージを踏まえ、統一したイメージを持たせながらも、まず、上方に、「ウチナー」ということが一目で認識できるよう、沖縄の島を年号と組み合わせで配置した。その島形には、目がついており、沖縄をくまなく学ぼうという主旨を込めた。

また、海外の沖縄県人子弟と、県内の児童生徒が沖縄の歴史や文化・自然を、絆を深めながら共に学んでいくという、当事業の特徴を、「Uchina Junior Study」の頭文字をキャラクター化することで表現。方々を観察する目で好奇心旺盛な心を、カラフルな色使いでたくさんの国々から来県されていることを表現し、また、動きのある手描きの書体で、子供たちの行動力とプログラムの楽しさ、充実した内容をそれぞれ表現した。

組織運営図

○組織運営図



ウチナージュニアスタディー2012 海外参加者名簿

海外参加者

	氏 名	性別	世代	国名	県人会名
1	内間 真理 UCHIMA MARI	女	2世	ドイツ	ドイツ沖縄県人会
2	フォルタ ナオミ マリカ NAOMI MARIKA FOLTA	女	2世	アメリカ	ワシントンDC沖縄会
3	フォルタ ネスター コーイチ NESTOR KOICHI FOLTA	男	2世		
4	ロバート 時男 上原 ROBERT UEHARA	男	4世		
5	ジーン ジェローム チェンバレン GENE JEROME CHAMBERLAIN	男	2世		アトランタ沖縄県人会
6	坂本 ケーレン たつお KELLEN TATSUO SAKAMOTO	男	4世		ハワイ沖縄県人会
7	シャプランド 杏香 マーガレット KYOKA MARGARET SHAPLAND	女	2世		カナダ
8	ルイス ペレス ジセル アマイラニ MATAYOSHI KIAN CRISTINA	女	4世	メキシコ	メキシコ沖縄県人会
9	仲宗根 カロリーナ デニース CARALINA DENISE NAKASONE	女	3世	アルゼンチン	在亜沖縄県人連合会
10	知念 ガブリエル 悠司 GABRIEL YUDI CHINEN	男	3世	ブラジル	ブラジル沖縄県人会
11	宮里 松堂 みえ子 マリナ MARINA MIEKO MATSUDOU MIYASATO	女	3世		
12	新垣 レチシア スエミ LETICIA SUEMI ARAKAKI	女	4世		カンポグランデ沖縄県人会
13	井上 洋樹 HIROKI INOUE	男	3世	ポリビア	ポリビア沖縄県人会
14	宮城 仲本 アドリアナ クリスティナ ADORIANA CRISTINA MIYAGUSUKU NAKAMOTO	女	4世	ペルー	ペルー沖縄県人会
青年リーダー					
15	ボロウス ジェシー けんた JESSEY BURROUGHS	男	2世	アメリカ (平成22年度)	ペンサコーラ沖縄会

ウチナージュニアスタディー2012 県内参加者名簿

県内参加者					
	氏 名	学年	性別	学 校 名	
1	吉原 玖美子	KUMIKO YOSHIHARA	3	女	琉大付属中学校
2	吉野 楓	YOSHINO KAEDE	3	女	知念中学校
3	稲嶺 幸乃	YUKINO INAMINE	3	女	コザ高校
4	岸本 月乃	TSUKINO KISHIMOTO	1	女	沖縄尚学高校
5	亀川 あきな	AKINA KAMEKAWA	2	女	糸満高校
6	宮里 翔和	TOWA MIYAZATO	2	男	沖縄尚学高校
7	大木 佳奈	KANA OOKI	2	女	沖縄尚学高校
8	長崎 優里菜	YURINA NAGASAKI	3	女	首里東高校
9	比嘉 夏子	NATSUKO HIGA	2	女	那覇国際高校
10	名嘉真 英亮	HIDEAKI NAKAMA	2	男	首里東高校
11	友寄 恵人	KEITO TOMOYOSE	3	女	中部商業高校
12	與那嶺 加奈絵	KANAE YONAMINE	1	女	向陽高校
13	饒平名 涼香	YOHENA RYOUKA	3	女	名護高校
兵庫県参加者					
14	大田 美沙希	MISAKI OOTA	3	女	尼崎高校
青年リーダー					
15	与坂 勇姫(19)	YUUKI YOSAKA	国際電子ビジネス専門学校		
JST参加年度・平成18年度参加(6期生) 年齢・19才					

ウチナージュニアスタディー2012 スタッフ名簿

運営スタッフ

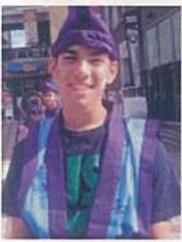
	氏 名	所属
1	勝連 雅晴 MASAHARU KATSUREN	協同組合 沖縄産業計画(サン・エージェンシー)
2	太田 卓也 TAKUYA OTA	協同組合 沖縄産業計画(サン・エージェンシー)
3	新垣 敦 ATSUSHI ARAKAKI	協同組合 沖縄産業計画(サン・エージェンシー)
4	国吉 俊宏 TOSHIHIRO KUMIYOSI	協同組合 沖縄産業計画(琉球國祭り太鼓)
5	新垣 麻利亜 MARIA SHINGAKI	協同組合 沖縄産業計画(JST2006卒業生)
6	金城 由美子 YUMIKO KINJO	協同組合 沖縄産業計画(派遣看護師)
7	豊見山 佐紀 SAKI TOMIYAMA	協同組合 沖縄産業計画(チューター)
8	上原 エリカ 里美 SATOMI ERIKA UEHARA	協同組合 沖縄産業計画(チューター)

沖縄県

	氏 名	所属
1	照喜名 一 HAJIME TERUKINA	沖縄県文化観光スポーツ部交流推進課 課長
2	嘉数 晃 AKIRA KAKAZU	沖縄県文化観光スポーツ部交流推進課 主幹
3	大石根 佳奈子 KANAKO OOISHINE	沖縄県文化観光スポーツ部交流推進課 主事
4	ロイター エリザベス ELIZABETH REUTER	沖縄県文化観光スポーツ部交流推進課 国際交流員
5	当山 樋口 アルトゥーロ ARTURO TOYAMA HIGUCHI	沖縄県文化観光スポーツ部交流推進課 国際交流員

ジュニアスタディーツアー2012 参加者名簿 (海外参加者)

ワシントンDC沖縄会(アメリカ)

	フォルタ ナオミ マリカ(16) NAOMI MARIKA FOLTA
	1995/8/8
	女 2世
	高校3年生
	体操、空手、ダンス、ピアノ、チア
	フォルタ ネスター コーイチ(16) NESTOR KOICHI FOLTA
	1995/8/8
	男 2世
	高校3年生
	ストリートダンス、空手、陸上競技

シカゴ沖縄県人会(アメリカ)

	ロバート 時男 上原(17) ROBERT UEHARA
	1994/9/30
	男 4世
	11年生
	空手、野球、ボーリング

アトランタ沖縄県人会(アメリカ)

	ジーン ジェローム チェンバレン(18) GENE JEROME CHAMBERLAIN
	1994/1/11
	男 2世
	11年生
	バイオリン

ハワイ沖縄県人会(アメリカ)

	坂本 ケーレン たつお(15) KELLEN TATSUO SAKAMOTO
	1995/12/30
	男 4世
	高校2年生
	バスーン

ペルー沖縄県人会(ペルー)

	宮城 仲本 アドリアナ クリスティナ(17) ADRIANA CRISTINA MIYAGUSUKU NAKAMOTO
	1995/3/16
	女 4世
	5年生中高
	絵をかくこと、踊り

ドイツ沖縄県人会(ドイツ)

	内間 真理(18) UCHIMA MARI
	1993/10/21
	女 2世
	13年生
	弓道、バレーボール、ヨガ

バンクーバー沖縄県友愛会(カナダ)

	シャブランド 杏香 マーガレット(13) KYOKA MARGARET SHAPLAND
	1998/11/27
	女 2世
	中学2年生
	空手、古武道、歌

メキシコ沖縄県人会(メキシコ)

	ルイス ペレス ジセル アマイラニ(17) GISELLE AMAIRANI RUIZ PEREZ
	1994/8/28
	女 4世
	高校3年生
	水泳、エイサー

ジュニアスタディーツアー2012 参加者名簿 (海外参加者)

ブラジル沖縄県人会(ブラジル)

	知念 ガブリエル ユウジ(16) CHINENN GABRIEL YUJI
	1996/1/26
	男 3世
	高校2年生
	空手、古武道、武の舞、三線
	宮里 松堂 みえ子 マリナ(15) MARINA MIEKO MATSUDOU MIYASATO
	1996/5/29
	女 3世
	高校2年生
	ピンポン、たいこ

カンポグランデ沖縄県人会(ブラジル)

	新垣 レチシア スエミ(17) LETICIA SUEMI ARAKAKI
	1994/10/23
	女 2世
	高校3年生
	インターネット、三味線

在亜沖縄県人連合会(アルゼンチン)

	仲宗根 カロリーナ デニース(17) CAROLINA DENISE NAKASONE
	1994/7/27
	女 3世
	高校3年生
	太鼓エイサー、タンゴ

ボリビア沖縄県人会(ボリビア)

	井上 洋樹(16) HIROKI INOUE
	1996/1/15
	男 3世
	高校3年生
	野球、エイサー

青年リーダー

ペンサコーラ沖縄県人会(アメリカ)

	ボロウス ジェシー けんた(18) JESSEY BURROUGHS
	1993/8/4
	男 2世
	青年リーダー
	空手、フットボール

ウチナージュニアスタディ2012 参加者名簿 (県内参加者)

中学生

	吉原 玖美子(14)
	KUMIKO YOSHIHARA
	1997/11/16
	琉大付属中学校3年 読書
	吉野 楓(15)
	KAEDE YOSHINO
	1997/5/5
	知念中学校3年 琉球舞踊・ピアノ 英検準2級

高校生

	稲嶺 幸乃(17)
	YUKINO INAMINE
	1994/12/10
	コザ高校3年 三味線・カラオケ 英検準2級
	岸本 月乃(16)
	YUKINOKISHIMOTO
	1996/5/16
	沖縄尚学高校1年 フラダンス・音楽・空手 英検準2級
	亀川 あきな(17)
	AKINA KAMEKAWA
	1996/5/29
	糸満高校2年 バトミントン 漢字検定準2級
	宮里 翔和(16)
	TOWA MIYAZATO
	1997/3/11
	沖縄尚学高校2 バレー・三味線・なわとび 英検準2級

高校生

	大木 佳奈(17)
	KANA OOKI
	1995/5/2
	沖縄尚学高校2年 バイオリン・三味線・空手 英検準1級・空手初段
	長崎 優里菜(18)
	YURINA NAGASAKI
	1994/5/3
	首里東高校3年 ダンス
	比嘉 夏子(16)
	NATSUKO HIGA
	1995/8/23
	那覇国際高校2年 バスケ・三線 英検2級
	名嘉真 英亮(17)
	HIDEAKI NAKAMA
	1997/5/29
	首里東高校2年 ダンス・ジャグリング・マジック
	友寄 恵人(18)
	KEITO TOMOYOSE
	1994/4/28
	中部商業高校3年 料理・三味線 漢検準2級・英検準2級
	與那嶺 加奈絵(16)
	KANAE YONAMINE
	1996/6/7
	向陽高校1年 ダンス・デッサン・カラオケ 英検3級

ウチナージュニアスタディ2012 参加者名簿 (県内参加者)

高校生

	饒平名 涼香(18)
	RYOUKA YOHEHA
	1994/5/30
	名護高校3年
	バレーボール・音楽鑑賞 英検準2級
	大田 美沙希(17)
	MISAKI OOTA
	1994/10/19
	尼崎高校3年
	山登り

青年リーダー

	与坂 勇姫(19)
	YUUKI YOSAKA
	1993/6/4
	国際電子ビジネス専門学校
	JST6期生
	歌、ソフトテニス

ウチナージュニアスタディ2012 実施内容



1.事前学習

●県内参加者オリエンテーション・ワークショップ

日時 7月23日(月)9:30～15:30

場所 かんぽの宿 那覇レクセンター(那覇市)

目的

- ・ホスト国の参加者として海外参加者をリードする心構えを持たせ、海外参加者との距離を近づけるきっかけにする。
- ・ワークショップを通して移民についての事前学習を行い、ホスト国としての自覚を持たせる。

実施内容

①オリエンテーション

ウチナージュニアスタディーの趣旨・スケジュール・ルールの説明

②交流プログラムのレク練習

ツアー初日に行う交流プログラムのレクチャーを、事前にジュニアスタディー卒業生ボランティアより受ける。

- 1、ゲーム:人間知恵の輪、椅子取りゲーム、じゃんけん列車
- 2、ダンス:5・6・7・8、マカレナ

③ワークショップ

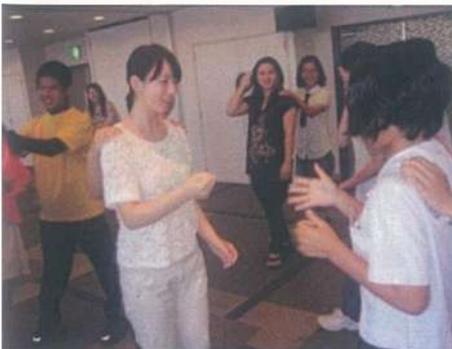
沖縄の子ども達、海外に住む日(沖縄県)系人子弟が共に沖縄から海外に移民として輩出されるようになった歴史を学ぶ。

- 1、アイスブレイク
- 2、移民を学ぶワークショップ

結果

オリエンテーション開始直後は参加すること自体もまだ実感を持っていない参加者が多数見られたが、レク練習及びワークショップが進行していくにつれ、ウチナージュニアスタディー参加への実感と共にホスト国としての意識も芽生えたようだった。

★ジュニアスタディー卒業生ボランティア参加人数:7人



2. 学習プログラム

■[1日目]7月24日(火)

主なプログラム: ●開講式・オリエンテーション ●交流プログラム① ●ウェルカムパーティー

08:00 参加者受付開始

09:00 ●開講式・オリエンテーション

12:00 昼食

13:00 引き続き、オリエンテーション

17:00 ●交流プログラム①(進行JST卒業生ボランティア)

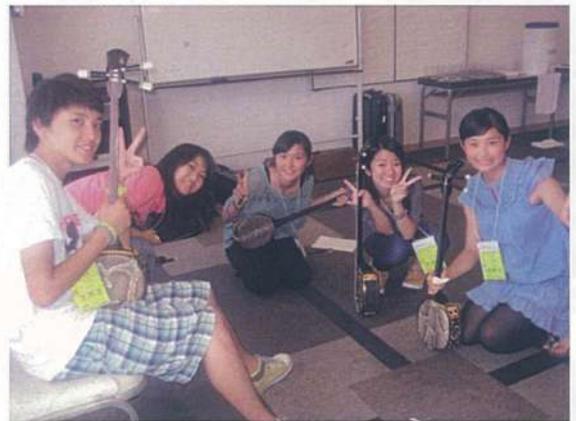
18:30 ●ウェルカムパーティー

日程終了

20:00 スタッフミーティング



井上洋樹による自国紹介



三線チャンプルーズ音合わせ中



●開講式・オリエンテーション

日時 7月24日(火)9:00~15:00

場所 かんぼの宿 那覇レクセンター(那覇市)

目的

ウチナージュニアスタディーの趣旨や概要を理解する。また、お互いの置かれている環境や状況を把握、理解し、より深い交流の場になるようにする。

実施内容

- ①ウチナージュニアスタディーの趣旨・スケジュール・ルールの説明
- ②全参加者自己紹介
- ③班分け・班長発表
- ④言語学習(国際交流員進行)
 - ・基本フレーズ学習(各国言語)
 - ・言語ゲーム
- ⑤海外参加者による自国紹介、移民の経緯発表

結果

緊張や不安、楽しみなどのさまざまな感情を抱きながら、初顔合わせを行った海外参加者と県内参加者だが、プログラムが進行していくにつれ、馴染んでいく様子がみられた。

参加者感想

- UJSに参加する前、何を期待すればいいのか分からなかった。友達からは色々聞いていたけれど、聞くことと体験することは全然違うと思った。初めて会ったばかりなのにも関わらず、幼馴染みたい「イチヤリバチョーデ」という言葉は本当だ。これから楽しみにしている。

海外参加者:女子
- このような交流が行われていることは素晴らしいことだと思う。このプログラムが長年に続いていって欲しいと思った。

海外参加者:女子
- 正直に言うと、親戚と4日過ごした後では、このUJSに参加したくなかった。でも、不安は無くなりました。友達もできて、プレゼンテーションの後で、みんなに受け入れられた。

海外参加者:男子
- もう少しみんなに馴染むのに時間がかかると思っていたが、すぐに仲良くなれた。

国内参加者:女子
- 楽しみながら交流できるし、自然と仲良くなれて不安がまったくなくなったし、今までたくさんの国の人と交流してきたけど同じウチナーンチュの心を持って県系人は共感出来ることが多くて、本当にうれしい。

国内参加者:女子
- 輪に入れなかったらどうしようなどと思っていましたが、その不安はすぐに吹っ飛びました。

国内参加者:女子



●交流プログラム

日時 7月24日(火) 17:00~18:10

場所 かんぽの宿 レクセンター(那覇市)

目的

ダンスやゲームを通して全参加者が一体感を持ちコミュニケーションがとれるよう、また、プログラム進行がスムーズに行えるよう手助けする。



実施内容

ジュニアスタディー卒業生ボランティア進行によるダンスやゲーム。

ゲーム:人間知恵の輪 椅子取りゲーム じゃんけん列車
ダンス:5・6・7・8 マカレナ



結果

参加者一人一人が積極的な交流を行い、一緒になってプログラムを盛り上げていた。事前オリエンテーションを受けた県内参加者は、JST卒業生ボランティアと共に海外参加者にダンスを教えたりするなど一生懸命に盛り上げる様子が見られ、ホスト国の役割を十分に果たした。

★ジュニアスタディー卒業生ボランティア参加人数:8人

参加者感想

●みんなで楽しく参加した。言葉の壁を越えて協力出来るのは良かった。

海外参加者:男子

●違う国の人が出て、色々な言語でしゃべっていた。一つの目的で集まって、情報を交換したり、理解し合ったりしてすごかった。どうやって違う国の人と分かりあうのか考えてみた“気持ち”があるからかな。

海外参加者:女子

●グループのみんなと仲良くできたし、絆も深まってとても楽しかった。また一日でこんなに仲良くなれるとは思わなかったのが、明日からが楽しみ。

国内参加者:女子

●ボランティアの人たちの協力により、ゲームも楽しめたし、グループ内でも仲が良くなれたと思います。

国内参加者:女子



●ウェルカムパーティー

日時 7月24日(火)18:30~20:00

場所 かんぼの宿 那覇レクセンター(那覇市)

目的

一週間のツアーの始まりを、懇親会や参加者が行う余興などを通し、スタッフや関係者みんなで楽しみながら同じ時間を過ごし、参加者にツアーに対する心構えを持ってもらうようにする。

実施内容

司会:ジュニアスタディー卒業生 仲村 デーニー(9期生)

- ①沖縄県文化観光スポーツ部長 平田 大ーによる歓迎の挨拶
- ②沖縄パンアメリカン連合会 大山 盛穂会長による乾杯
- ③懇親会(立食形式)
- ④参加者による余興
 - 1、空手 ロバート 時男 上原(アメリカ)
 - 2、ダンス&ジャグリング 名嘉真 秀亮
 - 3、ダイナミック琉球 與那嶺 加奈絵
 - 4、ウクレレ 坂本 ケーレン たつお(アメリカ)
 - 5、三線 友寄 恵人・大木 佳奈・宮里 翔和・比嘉 夏子・稲嶺 幸乃・吉野 楓
知念 ガブリエル ユウジ(ブラジル)

結果

ウェルカムパーティーにおける余興も、県内参加者と海外参加者が即席の三線チームを作るなど、積極的に交流していた。

★ジュニアスタディー卒業生ボランティア参加人数:8人

参加者感想

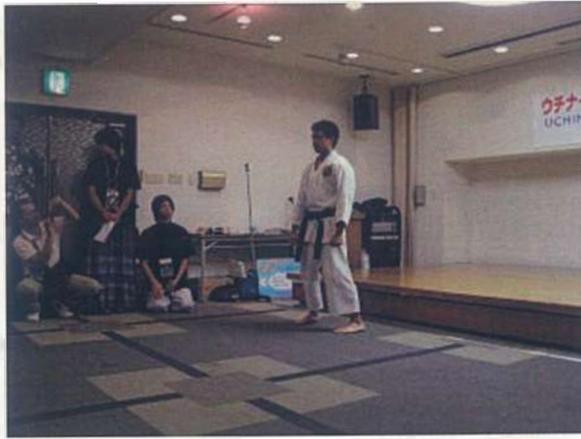
- 全てがおもしろかった。みんなのパフォーマンスも良かったし、みんなすごくがんばっているから私も頑張らないといけない。

海外参加者:女子
- パーティーは最高だった。違う国から来てるけど、皆と共通点があることが分かって、すごいと思う。

海外参加者:女子
- 私はチャンプルーズとして演奏しました。本当にみんな盛り上げてくれて嬉しかった。他の演奏、演技もとっても感動しました。演奏、演技が終わった後にハイタッチとかしてうまくいえないけど心が「ぽかぽか」しました。

国内参加者:女子
- ボランティアの進行でスムーズに余興の三線もできたし、余興の相談にもものってくれたのでありがたかった。このパーティーで中を深めることが出来たので、さよならパーティーを思うと泣きそうになりました。

国内参加者:女子



ロビー上原による空手の披露



ケーレンによるウクレレの披露



全員でカチャーシー



三線チャンプルーズによる三線の披露



■[2日目]7月25日(水)

主なプログラム:●沖縄県庁表敬訪問 ●歴史学習 ●伝統工芸体験学習 ●社会学習
●伝統芸能体験学習

07:00 朝食

08:45 ●沖縄県庁表敬訪問・記念撮影

10:00 ●歴史学習-首里城、金城町の石畳見学

12:00 昼食

13:00 ●歴史学習-沖縄県公文書館見学

15:30 ●伝統工芸体験学習-那覇市伝統工芸館

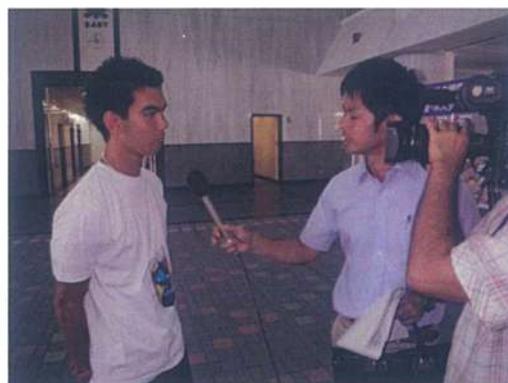
17:30 ●社会学習-特別講演会

18:30 夕食

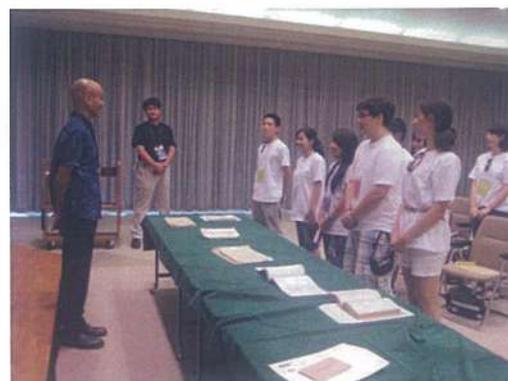
19:30 ●伝統芸能体験学習-エイサー練習(1) ※42ページ参照

日程終了

21:00 スタッフミーティング



ネスターインタビュー中



●沖縄県庁表敬訪問

日時 7月25日(水)8:30～9:30

場所 沖縄県庁舎県民ホール(那覇市)

目的

本事業の主催者である沖縄県、その沖縄県の行政の中核を担う沖縄県庁を表敬訪問することによりウチナー・ジュニアスタディに参加するという事の自覚と責任、そして海外参加者には自国の代表としての誇りを持ってもらうようにする。

また、本事業を多くの県民へ周知する。

実施内容

①歓迎の挨拶(沖縄県副知事 上原 良幸)

②参加者代表挨拶

・海外参加者代表:ジーン ジェローム チェンバレン
(アトランタ沖縄県人会/アメリカ合衆国)

アメリカから見る沖縄はとても小さな島だが、人と人とのつながりは世界で一番大きい。このツアーでたくさんの人と出会い、沖縄を通じて人と人との「きずな」を拡大できると信じている。

・県内参加者代表:稲嶺 幸乃
(沖縄県立コザ高等学校)

未来を担う私達が、次に伝えることができるようなツアーにしたい。ツアーでの交流を通して、大好きな「沖縄」のことや「海外」のことを学び、今後、様々な場面でリーダーシップをとれるよう努めたい。



ジーン・ジェローム・チェンバレンによる
海外参加者代表挨拶



稲嶺 幸乃による
県内参加者代表挨拶

③記念撮影

結果

例年通り多くのマスコミが取材に訪れ、賑やかな県庁表敬となった。上原副知事の挨拶が行われた際には、参加者全員が真剣に耳を傾け、肅々とした様子が見られた。

参加者代表として、海外代表ジーン・ジェローム・チェンバレンさん県内から稲嶺幸乃さんの二人が挨拶を行い、堂々とした姿に多くの喝采を浴びていた。

セレモニー終了後の写真撮影も、終始和やかな雰囲気で行われ、参加者にとって有意義な時間となった。

●歴史学習—首里城公園見学・金城町の石畳散策

日時 7月25日(水)10:00～11:45

場所 首里城公園、金城町の石畳(那覇市)

目的

450年にわたる琉球王国の歴史、琉球処分による王朝崩壊、太平洋戦争による首里城全焼など、琉球の歴史と文化、沖縄の近・現代史を知ることによって万国津梁の民・ウチナーンチュのルーツを学ぶ。

実施内容 首里城公園の見学・金城町の石畳の散策

守礼門 / 園比屋武御嶽石門 / 歓会門 / 龍樋 / 冊封七碑 / 瑞泉門 / 漏刻門 / 日影台
万国津梁の鐘 / 広福門 / 下之御庭 / 御庭 / 南殿 / 正殿 / 北殿 / 系図座・用物座
奉神門 / 木曳門

結果

琉球王朝時代を感じる事の出来る守礼門や正殿の放つ佇まいに、参加者は皆一様に感動していた。琉球王朝時代の文献や復元された資料から、参加者はウチナーンチュとしてのルーツを感じとった様子だった。

参加者感想

●沖縄と考えたらいつも首里城が出た。だから、感動した。
金城町を歩きながら、だいぶ前から保存されている石畳を知るようになった。

海外参加者:男子

●初めて行った場所だったのでよかった。以前どんな生活を送っていたのかを知ることが出来て、楽しかった。金城町の石畳も楽しかった。

海外参加者:女子

●沖縄の歴史を少しだけ知ることができました。だいぶ時間が経っているにもかかわらず、歴史的建造物がよく保存されている。全部、キレイ。

海外参加者:女子

●初めて訪れたので感動しました。沖縄ではなく琉球の姿を見る事ができた気がします。

国内参加者:女子

●景色がきれいでこれからも大切にしたいと思った。

国内参加者:女子



●歴史学習—沖縄県公文書館見学

日時 7月25日(水) 13:00～15:00

場所 沖縄県公文書館(南風原町)

目的

移民に関する当時の資料を閲覧し、移民の歴史を学ぶとともに、県内参加者と県外参加者互いの置かれている状況や移民そのものを考えるきっかけにする。戦後から沖縄の本土復帰までの歴史を学び、沖縄のことを深く考える機会にする。

実施内容

- ①映像フィルム上映「ブラジル県人会主催の本土復帰記念式典」、「沖縄の声」
- ②復帰40周年特別展見学「日本復帰への道」:琉球処分から第二次世界大戦終了後の日本復帰までの歴史を展示

結果

特別展及び映像フィルムの内容は、参加者には難しい内容になっていたが、皆真剣に映像を見たり、特別展を見学していた。

また、資料を直接手に取って閲覧する際は、海外参加者が自国に関する資料を手に取り感慨深そうに観察する場面も見られた。

参加者感想

●祖父と曾祖父を分かるためには大事なことだった。公文書館に行って良かった。

海外参加者:女子

●この訪問で、沖縄の歴史と復帰について、ちょっと知ることが出来たと思う。

海外参加者:男子

●興味のある分野で、たくさん疑問に思ったことを聞けたから本当に良かった。資料もいっぱいありビデオも見れたし、話もきけたのでうれしかった。

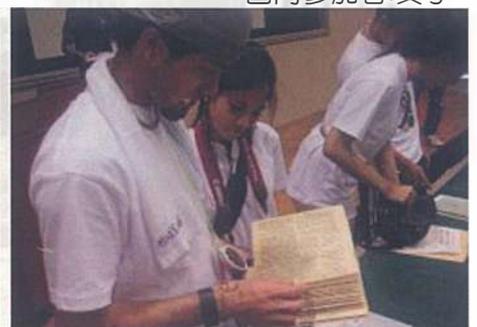
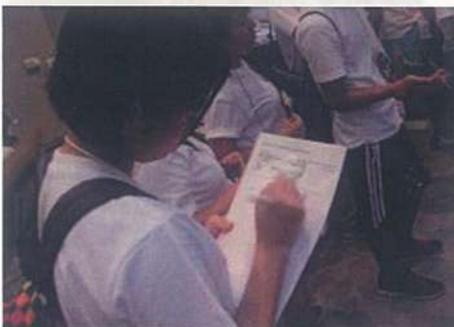
国内参加者:女子

●復帰40周年の勉強は一番興味があったことだし、公文書館は密約の話で聞いたことがあったので気になっていた。機会があれば、また来たい。

国内参加者:女子

●復帰運動など興味深いことが詳しく書いていて、もっとじっくり見たかったです。資料も直接触れたりして歴史を深く感じました。

国内参加者:女子



●伝統工芸体験

日時 7月25日(水) 15:30～16:45

場所 那覇市伝統工芸館(那覇市)

目的

沖縄の自然と文化から生まれ、海外との交流を通して磨き上げられた伝統工芸を体験する事により、沖縄の伝統工芸を肌で感じ取り琉球王朝文化に触れる。

実施内容

下記の①～③のコースから、1コースを選択し体験。

- ①琉球紅型体験…11人
- ②琉球ガラス体験…15人
- ③首里織体験…4人



結果

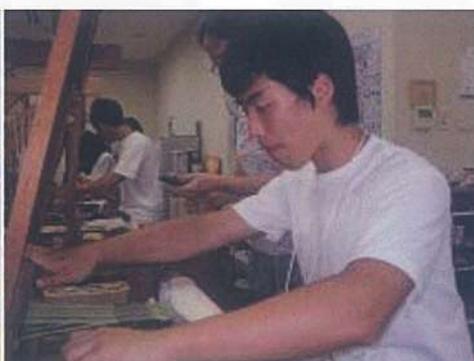
参加者はどのような伝統工芸が沖縄にはあるのか興味深々で、とても楽しそうに体験を行う様子が見られた。各コースの参加者が積極的に感想を言い合ったりするなどの交流の様子も伺えた。

参加者感想

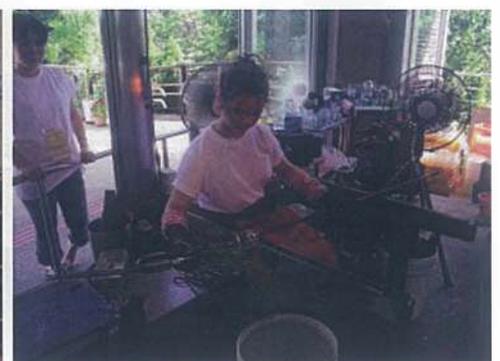
- 伝統工芸について見るだけでなく、体験できてよかった。私の国ではこういう体験はできない。
海外参加者:男子
- 現在でも沖縄の工芸品が続いていて、実際に自分で作ることができて、楽しかったです。
海外参加者:女子
- 琉球ガラスを作るのを何度も見たことあるけど、自分で作るのは初めて！楽しかった！
海外参加者:女子
- もともと芸術が好きで、楽しみにしていたのですが、やっぱり楽しくて黙々とやってしまいました。
国内参加者:女子
- 沖縄に住んでいても、なかなか伝統工芸は体験することが出来ないなので、貴重な体験になりました。
国内参加者:女子



ひろき 紅型体験



ゆうじ 首里織体験



杏香 琉球ガラス体験

●社会学習－特別講演会「世界へ羽ばたくグローバル人財」

日時 7月25日(水) 17:15～18:15

場所 かんぽの宿 那覇レクセンター(那覇市)

目的

ウチナージュニアスタディ参加者が大きく成長し将来、沖縄や世界の将来を担っていく人材に育つよう、講演会を通してこれからの生き方を考えるきっかけとする。



金城 和光氏

講師

金城 和光氏(株式会社ヒューマンキャピタル代表取締役社長)

※S59.沖縄県振興開発金融公庫入庫後、H14.株式会社沖縄教育出版社を経て、H18.株式会社ヒューマンキャピタルを設立。沖縄県唯一のベンチャーキャピタルとして、ベンチャー企業や企業家をはじめ、海外へ羽ばたく学生への支援を行っている。また、アジアにおおける日本人経営者ネットワーク沖縄和僑会会長としても活躍中。

実施内容

自らを成長させ、夢への実現へと歩みを進める秘訣及び世界へ羽ばたくグローバルな人財になる秘訣御教授くださると共に、グローバルな人財が日本と世界を結ぶ大きな役割を担うことをご講演いただいた。

結果

参加者からは、「勉強になった」や「考え方が変わった」などの意見が聞かれ、一人ひとりが刺激を受け考えるきっかけになった。

参加者感想

- 自分の夢を実現するために戦うことや、お金が大切だけどお金で買えないものもあると教えてもらった。
海外参加者:女子
- 講演会はすごくよかった。自分のやる気を起こさせる講演会だった。もうそろそろ専攻を決めないといけないから、いい勉強になった。
海外参加者:女子
- 金城さんの講演を聞いて自省した。僕は、やりたいことをやってる？と聞いた。僕にも、社会にも、良いことをやってる？と。
海外参加者:男子
- 大切なことを、人生で実践したいことを教えてもらった。
海外参加者:男子
- 金城氏の話はとても分かりやすく、また自分の意識を変えてくれるような革新的なものだった。
国内参加者:女子
- ためになることばかりで「実行しよう」ってめっちゃ思った。とりあえず本当に素敵な講演会でした。
国内参加者:女子
- 人が成功へ導かれる秘訣が分かった。
国内参加者:男子

■[3日目]7月26日(木)

主なプログラム:●社会学習 ●自然学習 ●伝統芸能体験学習

07:00 朝食

09:30 ●社会学習-沖縄科学技術大学院大学(OIST)見学

バス車内にて昼食

12:30 ●自然学習-美ら海水族館見学、イルカショー見学

15:15 ●自然学習-海水浴(ビーチレクリエーション)

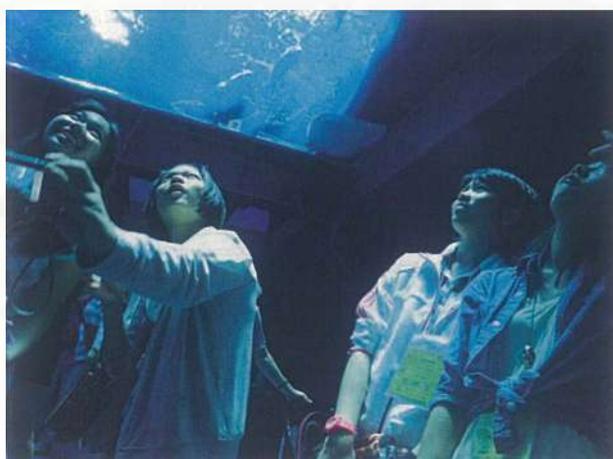
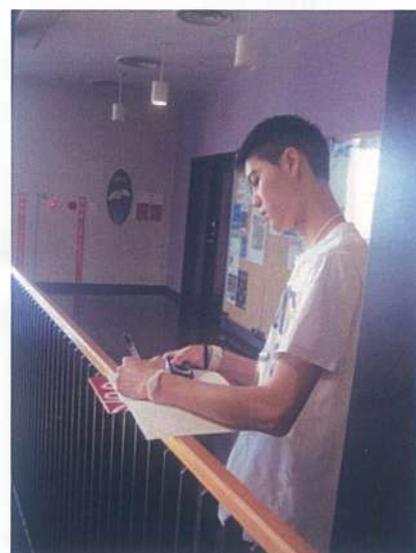
18:30 つつじエコパーク到着

19:00 夕食

20:00 ●伝統芸能体験学習-エイサー練習(2) ※42ページ参照

日程終了

21:00 スタッフミーティング



●社会学習-OIST(沖縄科学技術大学院大学)見学

日時 7月26日(木)9:00~11:30

場所 沖縄科学技術大学院大学(恩納村)

目的

科学技術に関する研究や、教育に対するの関心を持たせるとともに、世界でも屈指の最先端設備が集まる施設が、沖縄にあるという誇りを持たせる。

実施内容

①OISTの概要説明

副学長 ニール・コールダー氏の挨拶のあと、広報担当 西銘紗綾氏による概要説明、質疑応答を行った。

②OIST施設の見学

英語と日本語の2つのグループに分かれ見学を行った。

結果

副学長ニール・コールダー氏の挨拶の際や、西銘氏の質疑応答の際にはどうやったら入学出来るのか、どんな人がいるのか、などの具体的な質問が飛び出し真剣さが伺えた。施設見学時も、真剣な様子で、積極的に質問したり、意見交換していた。

参加者感想

- すごい大学を知ることができた。最高な沖縄の最高の場所にある。将来、できればOISTで勉強したいと思う。
海外参加者:男子
- 沖縄に世界に誇れるような学校があると、改めて知れてよかった。
海外参加者:男子
- 最初は、ちょっと退屈していた。しかし、少しずつ面白くなってきた。短期間だったけど、あそこにおいて、ラッキーだと思った。面白かった。
海外参加者:女子
- 印象的で良い勉強になった。昨日の講演会の続きのような気がした。OISTでどんな夢も実現できると教えてもらった。例えば、自然科学部。
国内参加者:女子
- とってもキレイな校舎で、もし機会があればここで勉強してみたいと思いました。
国内参加者:女子
- 私は「大学院」というものに対する具体的なイメージを全く持っていなかったのですが、今回の見学で少しイメージを浮かばせることができ、とてもいい刺激になりました。
国内参加者:女子
- まったく新しい大学である。入学できるために頑張ることは、将来のためのいい刺激であると思う。
海外参加者:女子



OIST副学長
ニール・コルダー氏



OIST広報担当
金城 紗綾氏



●自然学習-美ら海水族館・イルカショー・海水浴

日時 7月26日(木) 12:45～17:00

場所 美ら海水族館、オキちゃん劇場
エメラルドビーチ(沖縄海洋博記念公園内・本部町)

目的

海に住む生物の多様性や海そのものが持つ雄大さ偉大さを感じ、自然の大切さを学ぶとともに、「沖縄と海」という切っても切れない繋がりを学ぶ。

実施内容

- ①美ら海水族館見学
- ②イルカショー見学
- ③海水浴、レクリエーション



結果

美ら海水族館では各自が思い思いに見学し、沖縄の海の生物を肌で感じている様子が見られ、水族館の目玉でもある世界最大級のアクリルパネルで出来た水槽「黒潮の海」では、その大きさや迫力にみな一様に圧倒されていた。イルカショーではかわいいイルカ達の繰り広げる演技の一つ一つに歓声を上げ楽しんでた。エメラルドビーチでの海水浴では、沖縄の海のすばらしさを感じるとともに、レクリエーションを通して参加者同士の絆をさらに深めていた。

参加者感想

- すごかった。全てキレイだった。すごく楽しくてあっという間に時間が過ぎたのでもっと時間があればいいのになと思った。
海外参加者:女子
- いろいろな魚がいて、すべての水槽がすごかったし、イルカのショーも面白かった。エメラルドビーチではあまり時間は無かったけど、楽しむことができた。
海外参加者:女子
- 今まで水族館に行ったことがなかったから、僕にとって、最高の経験だった。水族館は大きくて色々な魚がいて、感動した。エメラルドビーチではあまり時間は無かったけど、みんなで楽しんだ。沖縄のビーチと僕の国のビーチは全然違った。
海外参加者:男子
- 様々な魚がいてとてもきれいだった。ビーチではバレーやサッカーをやって、みんなともっと仲が深まった。
国内参加者:男子
- 沖縄の友達とまわるのと、海外の友達とまわるのでは全然違う。やっぱり、ゆっくりと回って色々な発見や見方、そして言葉を教えながらの見学だったから素敵でした。
国内参加者:女子



●[4日目]7月27日(金)

主な学習プログラム: ●自然学習 ●交流プログラム② ●伝統芸能体験学習

07:30 朝食

09:00 ●自然学習-東の沢トレッキング

12:30 昼食

13:30 自由時間

16:00 ●伝統芸能学習-エイサー講習(3) ※42ページ参照

17:30 夕食(バーベキュー)

19:00 交流プログラム②-キャンプファイヤー

日程終了

21:00 スタッフミーティング



BBQを楽しむネスター&ロビー



Happy Birthday カロリーナ

●自然学習-トレッキング

日時 7月27日(金)9:00~12:00

場所 つつじエコパーク内 東の沢トレッキングコース(東村)

目的 やんばるの森の沖縄の大自然を体感するとともに、チーム行動を行うことにより、チームワークを高める。

実施内容

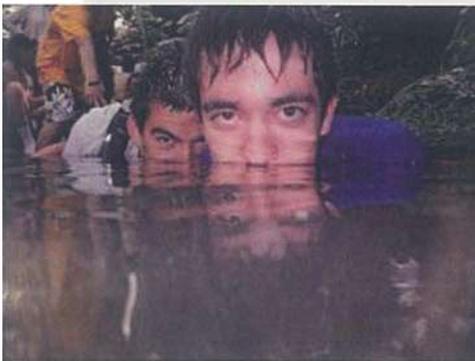
専門ガイドと共に「東の沢トレッキングコース」を観察しながらトレッキング。

結果

参加者の中には、自然の中を散策することに不慣れな参加者とそうでない参加者がおり、トレッキング開始時はペースに差がでると思われたが、ペースの速い人が遅い人を自然にサポートし、リタイヤする人もなく全員がコースを回りきることができた。参加者全員が協力し合うことでゴールまで辿りつけたことにより、一層強い絆ができた。

参加者感想

- 素晴らしい思い出となりました。自然がすごくきれいで、少し危険な感じもあり、とても楽しかった。
海外参加者:女子
- 沖縄の一員として、共通点のあるみんなと、トレッキングするのは何よりも良かった。
海外参加者:男子
- 道を歩きながら、色々見て楽しかった。チャレンジだった。自然に近づいたと感じていい経験だった。
海外参加者:女子
- 初めてトレッキングをしたので、川の中とか溺れるかなと思ってたけど、BOY達が助けてくれたから楽しく過ごせました。
国内参加者:女子
- 少し怖かったけれど年上のお姉ちゃんたちや男の子たちがサポートしてくれたので怪我もなく楽しく過ごすことができました。
国内参加者:女子
- 川の中はとても涼しくて気持ち良かった。山原の自然は美しく、壮大で素晴らしかった。男子・女子関係なく助け合って楽しめたので良かった。
国内参加者:女子



●交流プログラム②-キャンプファイヤー

日時 7月27日(金)19:00~21:00

場所 つつじエコパーク(東村)

目的

キャンプファイヤーを通し、参加者同士の更なる友情を生むと共に、ジュニアスタディー卒業生との交流の中でみんな繋がっているということを感じ、この繋がりがウチナーネットワーク構築のきっかけになるようにする。

実施内容

企画・運営 ジュニアスタディー卒業生ボランティアが企画し、ゲーム及びキャンプファイヤーを実施した。

- 内容 ①ゲーム(アムルソング、あめ玉探し、リアクションゲーム、ものまねあてゲーム)
②友情の火
③キャンプファイヤー

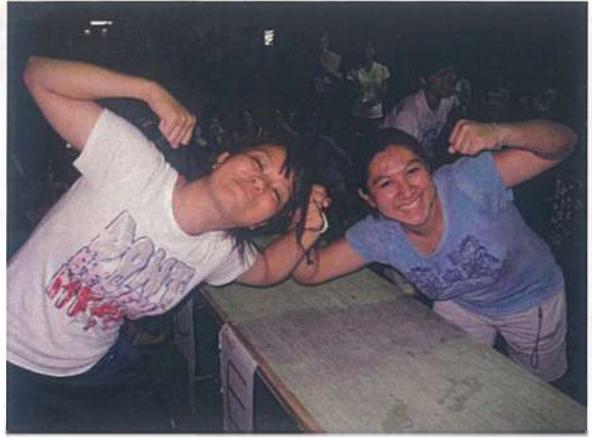
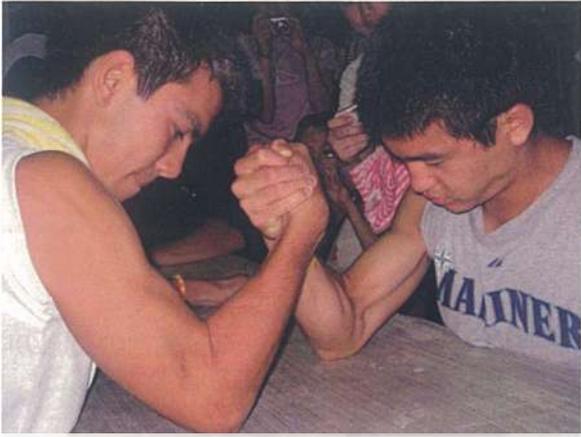
結果

交流プログラムを通し、参加者同士の友情を深めていた。参加者、ジュニアスタディー卒業生が協力してプログラムを進行する場面もあり、将来のウチナーネットワーク構築に大きな期待が持てる結果となった。

★ジュニアスタディー卒業生ボランティア参加人数:10人

参加者感想

- 素晴らしい。ゲームも最高だった。キャンプファイヤーでは、特にみんなで火をまわして真ん中に集まる所では、皆が団結したようだった。
海外参加者:女子
- 皆楽しんだし。私も楽しかった。ボランティアのみんなも参加してダンスした。私も、もう一度U J Sのボランティアや青年リーダーになり、ツアーに参加したい。
海外参加者:男子
- ゲームは楽しくて、キャンプファイヤーの周りではダンスをした。団結力が高まった。
海外参加者:男子
- 素晴らしい！ゲームが最高！キャンプファイヤーも良かった。特に、皆は火を回して、みんなが真ん中に集まった行くところは、皆が団結したようだ。
海外参加者:女子
- 最初はみんなノリノリじゃなかったけど、あとからノリノリになったので「ほっと」した。
国内参加者:男子
- ゲーム内容が簡単だけど、楽しめるノリがとても好きです。簡単だからこそ言葉の壁を越えて、みんなが楽しめたのだと思うので、ボランティアの方々に、感謝と尊敬の気持ちでいっぱいです。
国内参加者:男子
- もっと踊りたいくらい盛り上がって、やばいくらい楽しかった。BBQもおいしかった。スタッフやボランティアさん、ありがとうございます。
国内参加者:女子



■[5日目]7月28日(土)

主な学習プログラム: ●平和学習 ●社会学習 ●伝統芸能体験学習

07:00 朝食

10:00 ●平和学習-沖縄県平和祈念資料館・平和の礎・ひめゆりの塔

12:00 昼食

13:30 ●社会学習-マチグラー 散策

16:30 ●歴史学習-県立博物館「常設展示」見学

18:45 夕食

19:45 ●伝統芸能体験学習-エイサー講習(4)

※42ページ参照

日程終了

21:00 スタッフミーティング



平和の願いを込めるスエミ



●平和学習-沖縄県平和祈念資料館・平和の礎見学

日時 7月28日(土)10:00~11:45

場所 沖縄県平和祈念資料館・平和の礎(糸満市)

目的

沖縄戦の実態や戦争の悲惨さを学ぶとともに、平和を希求する沖縄の心を育む。

実施内容

- ①沖縄戦記録フィルムの視聴
- ②平和祈念資料館見学
- ③平和の礎見学
- ④ひめゆりの塔

結果

資料を見ながら涙を流す参加者や、戦争の悲惨さに耐え切れず、思わず目を背けてしまう参加者など、皆が平和への思いを巡らせていた。

平和の礎では、沖縄戦で犠牲になり、礎に刻まれた親族の名前を一生懸命に紙に写し取る参加者もあり、一人一人が自分なりの弔いをしていた。

参加者感想

- 戦争の戦場、それぞれの戦いの名前と、亡くなった人々のデータを勉強したことがあるけど、ここで戦争の恐怖が自分の目で見えた。

海外参加者:男子

- UJSにこのプログラムがあって良かった。なぜなら、戦争の結果はわかる、反省して祖先の努力を大切に思い、称える。そして、いろんな国はお互いを許したことが分かった。犯した間違いを繰り返してはいけないことも分かった。許してもいいけど、間違いを忘れてはいけない。

海外参加者:女子

- 平和の礎で、亡くなった大勢の名前を見るのは怖かった。でも、怖くていいのだと思う。平和への「使命」が激しい不安を引き起こすことだと思う。

海外参加者:男子

- 私たちが平和な時代に生かされていることに、改めて気づかされました。写真や体験記を読んで悲しい気持ちにもなりましたが、この世界から戦争をなくしたいという強い想いでいっぱいになりました。

国内参加者:女子

- 資料館は見学してしんどくなってしまった。平和の礎では仲間の祖先の名前を探せてよかった。

国内参加者:女子

- 刺激が強かったけど、今の自分には必要な刺激だと思う。平和の礎の中には、自分の先祖の名前があると思うと、とても心が苦しいです。でも、だからこそ戦争は絶対にしてはいけないものだ改めてわかりました。

国内参加者:男子



●社会学習-マチグワー散策

日時 7月28日(土)13:45~16:00

場所 平和通り(那覇市)

目的

現在も「市民の台所」として親しまれている平和通りを歩きながら、市民の生活に密着した街並みに触れ、市民の生活を学ぶ。

実施内容

ジュニアスタディー卒業生が、ガイド役となり「マチグワー市場」を散策した。

コースはAコースとBコースの2つ用意し、2チームに分かれ下記の6ヵ所を順次まわりながら、平和通りで合流する流れとなる。

①国際通り(テンブポケットパーク)



②平和通り



③斎胸園



④壺屋やちむん通り(東ヌカー)



⑤牧志公設市場



⑥南ヌ窯



結果

参加者、ジュニアスタディー卒業生ともに楽しみながら、マチグワー散策した。

海外参加者、兵庫県参加者はもちろん、県内参加者も普段は通ることのないルートを新鮮な様子で散策していた。

参加者と卒業生の一体感もあり、将来のウチナーネットワーク構築の一歩になるきっかけになったように感じた。

★ジュニアスタディー卒業生ボランティア参加人数:12人

参加者感想

●沖縄の文化と伝統工芸について、もっと学ぶことができた。

海外参加者:女子

●普段では絶対に行かないような裏道を散策できて良かったです。

国内参加者:男子

●歴史学習-沖縄県立博物館・美術館見学

日時 7月28日(土)14:15～15:10

場所 沖縄県立博物館・美術館(那覇市)

目的

縄文時代から琉球王朝時代、戦争、戦後を歩んだ沖縄の成り立ちや歴史、文化などを学ぶ。

実施内容

博物館の常設展示の見学

常設展(総合展示)

ニライカナイの彼方から
海で結ばれた人々
古我地原貝塚模型
貝塚のムラから琉球王国へ
王国の繁栄
薩摩の琉球支配と王国
王国の衰亡
沖縄の近代
戦後の沖縄
沖縄の今、そして未来へ

常設展(部門展示)

考古部門展示 「沖縄考古学の世界」
歴史部門展示 「モノから読む歴史」
美術工芸部門展示 「琉球の美」
民俗部門展示 「沖縄の伝統と暮らし」

結果

参加者は、沖縄の自然・歴史・文化とそれぞれのコースを自由に巡った。
これまでに体験したプログラムで学んだ沖縄を、思いおこしながら学んでいた。

参加者感想

●沖縄に関することが沢山あった、ウチナーンチュの始まりと進化が分かった。勉強になった。

海外参加者:男子

●沖縄の人がどんな生活を送っていたのか、何を着ていたのか、どんな三線があるのか知れて良かった。

海外参加者:女子

●今までの博物館のイメージとは違って、とても楽しくまわる事ができました。

国内参加者:女子

●少し難しかったが、学ぶことが多かったのが良かった。

国内参加者:女子



■[6日目]7月29日(日)

主なプログラム: ●移民学習 ●伝統芸能体験学習

07:30 朝食

09:00 ●移民学習-移民の歴史を学ぶワークショップ

12:00 昼食

13:00 引き続きワークショップ

15:00 ●伝統芸能体験学習-エイサー講習(5) ※42ページ参照

16:00 エイサー演舞準備

●伝統芸能体験学習

17:00 琉球國祭り太鼓演舞

17:30 参加者エイサー演舞

18:30 解散(各自ホームステイ先及び自宅へ)

～ホームステイ～



●移民学習-移民の歴史を学ぶワークショップ

日時 7月29日(日)9:00~15:00

場所 那覇市ぶんかテンプス館 4Fレッスンルーム(那覇市)

目的

海外参加者(沖縄県系人)のルーツである沖縄県の移民の歴史を学ぶとともに、お互いのアイデンティティーについて考え、ウチナーンチュのアイデンティティーを再認識する。

講師

玉城直美氏、金城さつき氏(沖縄NGOセンター)

※沖縄NGOセンター:1999年7月から沖縄県内に拠点を置く国際協力・交流NGOのネットワーク組織として発足。NGO間の組織強化と個人を対象とした市民活動を行っている。

実施内容

下記の内容をワークショップ形式で実施し、各内容ごとにグループで意見をまとめて発表した。

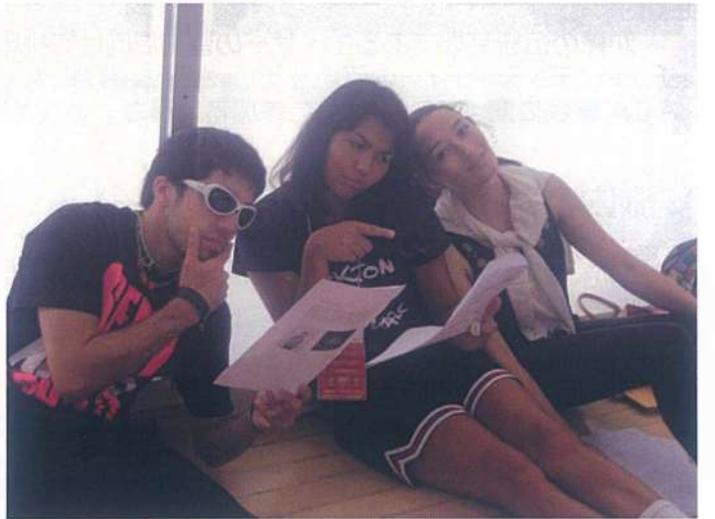
- ①アイスブレイク(移民カルタ、クイズ等)
・喜怒哀楽を伝えるゲーム ・移民カルタ ・身の回りの「沖縄らしさ」を発表する
- ②アイデンティティーの確認
6日間のプログラムを通して、ツアーに参加前後で自分のアイデンティティーに変化あったのかを振り返る。
- ③歌から学ぼう~移民の気持ち~
「移民小唄」(民謡)と「Gambateando」(ディアマンテス)を聞き、移民当時(昔)の移民の状況と現在の移民出身者の状況と現在の移民出身者の状況を考える。

結果

ワークショップの中では、一週間のツアーの中で起こったアイデンティティーの変化について考え、また、県内参加者、海外参加者共に様々な国における移民の歴史を知ることにより、沖縄と母国との関係を考える機会となった。また、県内参加者は、海外参加者の身近に「沖縄」を感じるものが沢山あることを知り驚いていた。

参加者感想

- 移民の歴史ワークショップは考えさせられた。自分のひいおばあさんは、写真花嫁でアメリカに連れてって行かれたことを考えた。
海外参加者:男子
- よくまとまったアクティビティーだった。今まで学んだテーマとゲームで連携して良かった。例えば、日本移民。そして、プロジェクトの発表も面白かった。全て楽しかった。
海外参加者:女子
- 海外でも「エイサー」などを行っていることにビックリした。それぞれの国の沖縄に対する心を知ることができてよかったです。
国内参加者:女子
- この一週間で、自分が移民に対してや、県人会に対して思っていたことや考えが変わった。
国内参加者:女子



●芸能体験学習－エイサー講習・エイサー演舞披露

日時・場所

エイサー講習

- | | |
|--------------------------|---------------|
| (1) 7月25日(水) 19:30～20:30 | かんぼレクセンター前広場 |
| (2) 7月26日(木) 20:00～21:00 | つつじエコパーク |
| (3) 7月27日(金) 16:00～17:00 | つつじエコパーク |
| (4) 7月28日(土) 19:45～21:00 | 那覇市ぶんかテンプス館 |
| (5) 7月29日(日) 15:00～16:00 | かんぼレクセンター屋内施設 |

エイサー演舞披露

- | | |
|----------------------------|---------------------|
| (6) 7月29日(日) 17:30～17:45 | 那覇市ぶんかテンプス館前ポケットパーク |
| (7) 7月30日(月) さよならパーティーにて披露 | 那覇市ぶんかテンプス館(大ホール) |

目的

沖縄の伝統芸能であるエイサーの習得に向けて挑戦することにより、参加者同士の一体感の醸成と、ウチナーンチュアイデンティティーの確認を行う。さらに、習得したエイサーを披露することにより、ウチナージュニアスタディーを広く県民に知ってもらい、また参加者全員が大きな達成感を得る場とする。

実施内容

琉球國祭り太鼓 運営委員長 国吉俊宏の指導により、課題曲「ミルクムナリ」の習得に取り組んだ。
また、ツアー6日目には、那覇市ぶんかテンプス館前ポケットパークにて多くの観客、歩行者の前でエイサー演舞を披露、最終日のさよならパーティーでも保護者や関係者を前に演舞を披露した。

結果

県内参加者を含め、ほとんどの参加者が初心者からスタートしたエイサー練習であったが、誰もリタイアすることなく全員で、本番の演舞をやり遂げたことは、大きな成果だった。練習中には、教えあったり、励ましあったりする姿が数多くみられ、「やりたくない」、「やめたい」などのネガティブな言葉を発する子もおらず、皆がエイサーに挑戦できる喜びと、ウチナーンチュとしてのアイデンティティーを、強く感じているようだった。

大成功を収めたエイサー演舞終了後には、達成感や充実感で笑う子もいれば、涙を見せる子もあり、参加者にとって大きな経験になった。

参加者感想

- 一番最高。みんなの努力が実を結んだ。誰が間違ったか、気にしない。大切なのは、みんなが気持ちを込めて踊ったことだと思う。

海外参加者:女子

- 琉球國祭り太鼓のプレゼンテーションが楽しかった。このようなダンスを見たら、鳥肌が立って、県系人であることを誇りに思った。

海外参加者:女子

- 緊張した。でも、みんな心一つにして大きな力が生まれた。感動した。

国内参加者:女子

- 少しミスしてしまったけど、本当に感動した。たくさんの方がみてくれていて、このメンバーで踊れたことは、うれしく思います。

国内参加者:女子

- うまく間違えずにできた。みんなと一つのもので一週間でつくりあげられたのがすごかった。

国内参加者:女子



■ [7日目] 7月30日(月)

実施内容： ●学習成果発表会 ●修了式 ●さよならパーティー

- 12:30 参加者受付
- 13:00 リハーサル
- 14:30 来賓・一般客受付
- 15:00 ●学習成果発表会
- 16:20 ●修了式
- 17:00 ●さよならパーティー
- 18:30 解散



●学習成果発表会

日時 7月30日(月)15:00～16:15

場所 那覇市ぶんかテンプス館(那覇市)

目的

プログラムを通してのお互いの思いや考えを共有し、今後の交流につなげる。

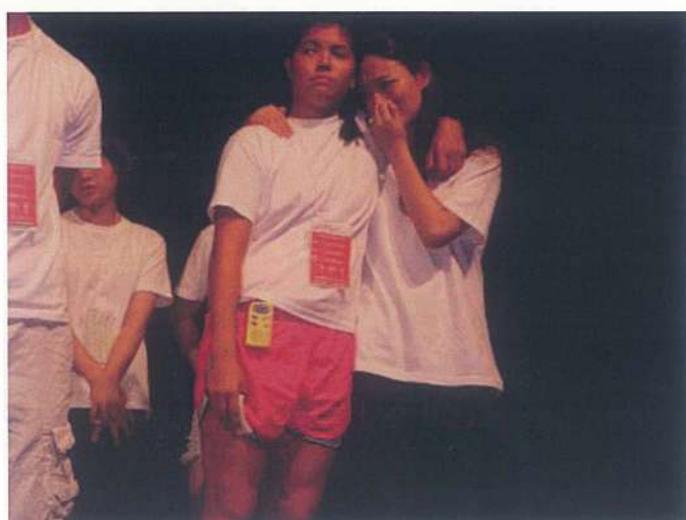
実施内容

ウチナージュニアスタディーに参加して、参加者が学んだことや、感じた事など、感想を日本語で自由に述べる。

結果

ウチナージュニアスタディーが終了し、別れが近づいていることを、参加者一人一人が感じながら発表を行っていた。

別れの辛さを隠すように険しい表情で発表する参加者や、涙を堪えきれず泣きながら発表を行う参加者など、今感じている思いを素直に発表していた。



●修了式

日時 7月30(月)16:20～16:40

場所 那覇ぶんかテンプス館

目的・内容

参加者全員に修了証書、海外参加者にはジュニア大使の認証状を授与し、今後の沖縄と海外の交流の架け橋的存在になることを期待する。

結果

沖縄県知事に代わり、文化観光スポーツ部平田大一部長より、参加者一人一人に証書が授与された。

全員に証書が手渡された後には、平田部長による「レキオス」の歌と太鼓も披露され大きな盛り上がりを見せていた。

参加者全員が、ツアー初日より成長した様子が見られ、今後の沖縄や母国の架け橋になってくれる、そんな期待を抱かせた。



修了証書(県内参加者)

平成二十四年度
ウチナージュニア
アスタディー

修了証

殿

あなたは「平成二十四年度ウチナージュニアアスタディー」に参加され、沖縄の歴史文化自然等の体験学習を通して母国への理解を深めるとともに海外及び国内参加者との交流を通じて世界の広がりをウチナーネットワークの一員として成果を挙げられたことを証します

平成二十四年七月三十日
沖縄県知事 仲井真 弘多

ジュニア大使認証状(海外参加者)

認 証 状

Certificate

殿

あなたはウチナージュニアアスタディーを通して沖縄の歴史文化自然への理解を深められました今後次世代のウチナーネットワークを担う人材として沖縄の魅力を発信し国際交流の架け橋となりますことを期待し沖縄ジュニア大使として認証いたします

*By partaking in the Uchina Junior Study ,
you have deepened your understanding of Okinawa's
history, culture and environment.*

*Entrusted with the ever-expanding Uchina network
of the next generation,
we anticipate that from this point forth,
you will pass on the message of Okinawa's beauty to others,
constituting your role as bridge between nations.*

*To signify this role,
the Okinawa Prefectural Government bestows the position of
Junior Ambassador of Okinawa upon you,
this monday of July 30 2012.*

平成24年7月30日

沖縄県知事 仲井真 弘多

*Hirokazu Nakaima
Governor of Okinawa Prefecture*

●さよならパーティー/那覇市ぶんかテンプス館

日時 7月30日(月)17:00～18:30

目的

一週間という時間を、共に過ごした仲間たちとの最後の時間を、参加者が伝統芸能や特技を披露したりしながら、楽しい時間を過ごしたり、スライドショーやツアー中に思い出の曲となった歌を、全員で合唱したりするなど、ツアーを思い出したりしながらツアーを締めくくる。

実施内容

- ①沖縄ブラジル協会 西原 篤一会長による乾杯
- ②懇親会(立食形式)
※おにぎり・ウチナー天ぷら・ぜんざいはジュニアスタディー卒業生ボランティアが調理した。
- ③参加者全員でエイサー演舞(ミルクムナリ)
- ④参加者による余興
 - 1、空手 フォルタ ナオミ マリカ・フォルタ ネスター コーイチ(アメリカ)
 - 2、ペルーの踊り 宮城 宮本 アドリアナ クリスティナ(ペルー)
 - 3、琉球舞踊 吉野 楓
 - 4、アルゼンチンタンゴ 仲宗根 カロリーナ デニース(アルゼンチン)
 - 5、三線 友寄 恵人・大木 佳奈・宮里 翔和・比嘉 夏子・稲嶺 幸乃・吉野 楓
知念 ガブリエル コウジ(ブラジル)
- ⑤ウチナージュニアスタディ思い出のスライドショー上映
- ⑥JST卒業生ボランティアによる引継式
- ⑦記念撮影

結果

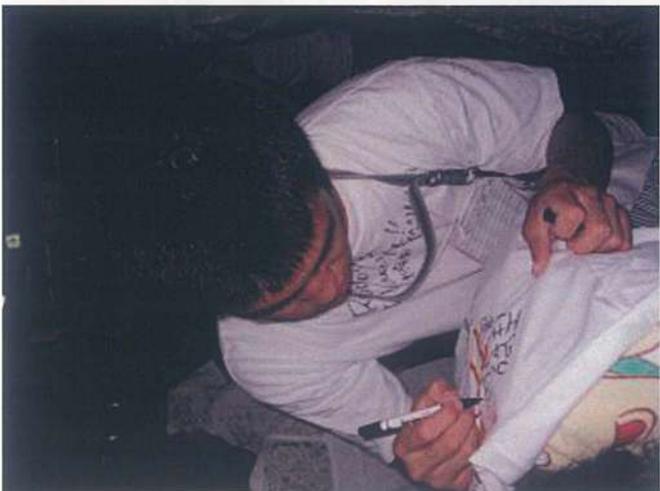
参加者は、最後の時間を惜しむようにパーティーを楽しんでいた。

エイサー披露では、参加者全員で行う最後のプログラムということもあり、大きな一体感を感じた。参加者の余興では、ペルーの踊りやアルゼンチンタンゴ、琉球舞踊などが披露され、参加者全員が楽しんでいた。

ジュニアスタディー卒業生による引継式では、参加者とJST卒業生ボランティアが向かい合い、これからもずっと交流を続けていこうと宣言。ウチナーンチュとしての団結・絆・再会の約束を交わした。

パーティー終了後には、Tシャツにメッセージを書き合う様子が見られ別れを惜しみながらも再会を誓い合っていた。

★ジュニアスタディー卒業生ボランティア参加人数:14人



インターネットを利用した次世代ネットワークの構築(Facebook)

次世代ネットワークの構築として、昨年に引き続き今年度もFacebookを活用した交流が進められた。FaceBook上にUJSのグループを形成し交流を促すことで、ツアー実施前から積極的な交流がみられ、本番のスムーズな交流の手助けとなった。

ツアー終了後も盛んな交流が見られ、さらなるウチナーネットワークの構築と広がり期待したい。

FaceBook/UJSグループ参加人数:42人

The screenshot shows the Facebook interface for the 'Uchina Junior Study 2012' group. The page header includes the Facebook logo, a search bar, and the user's name '新垣 敬'. The group name 'Uchina Junior Study 2012' is prominently displayed at the top of the page content, with navigation tabs for '情報', 'イベント', '写真', and 'ファイル'. Below the header, there are options to '投稿する', '写真/動画を追加', '質問する', and 'ファイルを追加'. A search bar for the group is present, with 'メンバー42人' circled in red. The main content area features a post from 'Caro Naka' with a link to a website and the text 'I think all of you should gooooo!! I WANT TO MEET YOU ALL ONCE MORE :)'. Below the post is a section for 'Niseta Tour Perú' with a description in Spanish and a note that 205 people have liked it. A comment from 'Kanae Katie Yonamine' and others is visible. On the right side, there is a '知り合いかも?' section listing several members and their mutual friends.

■ツアー卒業生ボランティア事前準備

日時 6月下旬～7月22日(日)

実施内容

ボランティアの協力を呼びかけたところ、今年度も多くのツアー卒業生が手をあげてくれた。ウチナージュニアスタディー本番1ヶ月前から、準備を始めたツアー卒業生たちは、毎週のように集まり、過去行ってきたツアーを思い出しながら、プログラムや司会決め、進行の段取りなど皆が積極的に意見を出し合い、進められた。

ツアー卒業生が、年齢や参加した年に関係なく集まり、これからツアーを行う参加者のために一つとなり準備を進める様子は、ウチナーネットワークの繋がりを感じさせると同時に、さらなる発展を期待させる一幕となった。

ボランティア参加プログラム

- 1、交流プログラムレク練習 7月22日(月)
- 2、交流プログラム①「レクレーション」・ウェルカムパーティー 7月23日(火)
- 3、交流プログラム②「キャンプファイヤー」 7月27日(金)
- 4、マチグワー散策 7月28日(土)
- 5、さよならパーティー 7月30日(日)

★ジュニアスタディー卒業生ボランティア参加人数:延べ41人



3.参加者感想文

海外参加者感想文

ボロウス ジェシー(青年リーダー)
ペンサコーラ沖縄県人会(アメリカ) 国)

初めに、こんなにすばらしいウチナージュニアスタディープログラムの一員になれたことに関し、沖縄の皆様にお礼を申し上げたいです。2012年のウチナージュニアスタディーの青年リーダーに選ばれたことにとっても感謝しております。選ばれた当初、リーダーの役割について戸惑いました。でも沖縄に着き目星がつかしました。それは他のみんなと同じように楽しむこと、それでもリーダーとしての責任は勤めること。リーダーとしての勤めにはたくさんのチャレンジがあり、又、責任があること、大変な所もありましたがそれ以上にリーダーの役目は価値があることに気付きました。

ウチナージュニアスタディーは世界各国にいるウチナーの血を受け継いだ人々がお互いに結び合うことができるというとてもすばらしいプログラムだと思えます。私にとって将来ウチナージュニアスタディーに又参加することができるとしたらこれほど光栄なことはありません。そして沖縄の血を引いてる人々に機会があればぜひ参加することを勧めます。ウチナージュニアスタディーツアーの成功とさらに大きく優れたものになることを祈っています。それと沖縄で学んだことをそれぞれの国に持ち帰り家族や友達に分か合うことを望んでいます。

シャブランド・杏香・マーガレット
バンクーバー沖縄友愛会(カナダ)

もし、ジュニアスタディーツアーの事を一言で説明するとすれば、それはいつまでも記憶に残る大切な思い出です。私は、三年前に家族で一度沖縄を訪れた事があります。でも今回の状況は前回と違いカルチャーツアーで、その上私一人での旅でした。

初めに、私はいつも沖縄に居る家族に会いたいと思っていました。ですから、一週間の間その家族達と一緒に生活できる機会を与えられた事に感謝し、それだけではなく、私の日本語に磨きをかけることができました。

ツアーの初日はとても緊張してしまいました。その上、しばらくして気づいたのは皆の前で自己紹介をしなければならぬということでした！ツアーの初日にもかかわらず、皆とてもフレンドリーでやさしくしてくれました。その日から私たちは仲良くなり、今でも毎日のようにソーシャルネットワークを通しお互いの近況を報告しあっています。それから、素晴らしいスタッフ、ボランティアの皆さんのおかげで100%以上の安心感を持って過ごす事が出来たことを感謝します。経て、それ以上に大好きな場所になりました。ツアーで学んだこと全てを簡潔に述べることは難しいですが仲間達と共有できました。そして、メンバー達の出身国についても知り理解を深めることができたことを嬉しく思います。最後に言いたいことは、このような人生を変えるような体験をさせてもらいありがとうございました。

沢山の新しい友人ができ、遠い沖縄に住む家族と過ごし、伝統文化を学び素晴らしい経験をする事が出来ました。沖縄は私にとってずっと特別の場所です。
にふえーで一びる

ルイス・ペレス・ジェシカ・アマイラ
メキシコ沖縄県人会(メキシコ)

ジュニアスタディーの募集があると聞いたとき、参加したいとすぐに思いました。私の親戚の一人が以前それに参加したことがあったからです。私は選ばれるのを辛抱強く待ちました。はじめは複雑な気持ちでした。行ったことのない国に行くことに期待と不安を抱いていました。でも行ってみたいという気持ちで胸はいつぱいでした。何よりもまずコーディネーターの方々に感謝しています。

というのも早い段階から参加者の名簿やメールアドレスや旅程などを送ってくださったので、沖縄に着く前に誰と会えるかを知ることができたからです。またFacebookの特設ページで他の参加者と連絡を取ることができました。そして現在も彼らと連絡を取っています。そのようにして私は事前にペルーからの参加者と連絡を取り、フランスの空港で彼女に会い、そしてそこから沖縄まで一緒に行くことになりました。旅の間にお互いを少し知ることができました。成田空港ではボランティアの方が私たちを快く出迎えてくれ、荷物を預けたりするのを手伝ってくれました。そして私たちは目的地の沖縄へとむかったのです。

沖縄行きの飛行機を待っているときに、シカゴからの参加者と合流しました。

今回の旅で一番重要だったのは、私を喜んで迎えてくれた親戚や友人たちと時間を過ごせたことです。

沖縄に到着してから数日後に私たち参加者はあるホテルに集まり、はじめて全員が顔を合わせました。印象に残ったことは、いろんな言語を話す人たちが集まったにもかかわらず、全員が努力してお互いの言うことを理解したり、同じ時間をすごしたり、感動を伝えようとしていたことです。

いろんな場所をめぐることで、それぞれの場所で日本文化について学び、たくさんの苦労にもかかわらず沖縄の人々が立ち上がってきたその強さのわけを知りました。一番印象に残った場所はちゅら水族館です。その大きさもさることながら、それまで私が見たこともなかったたくさんの種類の魚介類を見ることができました。とくにイルカショーが私のお気に入りでした。

いろいろなイベントやその間のおしゃべりをとおして、私たち参加者はお互いを良く知ることができました。

私が一番楽しんだのはエイサーの練習です。私の国でもエイサーをやっているの、他の参加者にステップを教えることができました。

時がたつにつれて、私たちは寂しさを感じずにはいられませんでした。

友達と別れるというより、家族と別れるような気持ちだったからです。

でもインターネットをつづいて今も連絡を取り続けています。彼らがメキシコを訪ねに来る、あるいは私が彼らを訪ねるといふ計画もできています。

ジュニアスタディーが終わって私の中に変化がありました。以前の私は引っ込み思案で、いつも誰かに頼っていました。だけど一人で旅をすることは、そんな態度をやめ、もっと自立するように私に強いたのです。もうひとつ私の中で変わったこと、私が学んだことは、曾祖父母の故郷を知ったことで、私のルーツを知り、その文化について知り、その島の美しさを知ったことです。その体験を他の人たちとわかちあい、その人たちが沖縄に行ってみたくらいと思ふことを願っています。

仲宗根・カロリーナ・デニ
在亜沖縄県人連合会

UJSのことを考える時、いろいろな思い出が頭に浮かんできます。

この研修のおかげで、沖縄に住んでいる家族にはじめて会うことができました。みじかい期間でしたが、かわいがってくれ、まもってくれ、自宅のような快適でした。

私の親戚、そしてUJSの方たちといっしょに、おきなわのきれいな風景や楽園をみることができました。沖縄の青い空と青い海がとてもすてきでした。さらに、博物館などを見学し、沖縄の文化やれきしをたくさんまなびました。

UJSで一番よかったことは、いろいろな国の友達ができることです。会ったその日から、違いにもかかわらず、なかよくできました。笑顔で理解し合うことができました。まるで兄弟のような感じでした。

みなさんときちょうなじかんをすぐすことができ、いい思い出もたくさんつくり、とても喜んでかえってきました。うれしいことに私はまだ友達と連絡を取り合っています。

沖縄に行って、日本語がちょっとじょうずになりました。日本語でしゃべることができ、うれしかったです。でもまだ、たくさんべんきょうしなければなりません。そうすれば、しょうらい沖縄へ勉強しに行けます。この研修のおかげで、私は自分自身をよく知ることができました。世界のはんたいがわにある国へひとりで行けたことはわたしにとって大きな成果です。この機会が私が日本人であることに誇りを持っていることを実感しました。私にこのチャンスをくださったCOAの方々、そして協力してくれた家族に心からかんしゃしています。

井上 洋樹
ホリビア沖縄県人会 (ホリビア)

このたび、ウチナージュニアスタディーに参加することとなり、初めての日本の沖縄県へいくこととなりました。空港では、初めての会う親せきのおじさん、そして僕の受け入れ先の比嘉先生、みんなが那覇の空港であたたかく迎えてくれました。

空港でかんたんに親せきの方々へ自己紹介を終

え、僕は比嘉先生の家に向かいました。着いた最初の三日間は、まず比嘉先生に伊江島に連れて行ってもらいました。そこで、海にもぐりました。とてもきれいな海でした。最高でした。

買い物にも連れて行ってもらい、おみやげもたくさん買うことができました。

ウチナージュニアスタディーが始まり、沖縄県の歴史で学んだこと、それは戦争のことでした。平和の塔を訪れ、なんともいえない悲しい気持ちになりました。自分の先祖の名前を探すことはできませんでしたが、こんなにたくさんの人たちの命がうばわれた戦争、二度と繰り返してほしくないと思いました。

他の国の参加者とは、すぐに仲良くなり、研修先への移動途中、バスの中で大声でカラオケを歌ったりしてとても盛り上がりました。どこの国の人でも「歌がすきなんだなあ」と改めて思いました。

一番感動したこと、それは世界のウチナー子弟全員で心をつづいてエイサーを踊ったことでした。楽しくて最高の気分でした。

ウチナージュニアスタディーのおかげで、僕の念願だった親せきめぐりができたこと、もちろんみんな僕にとっては、おじい、おばあでしたが、会えたときはとても嬉しかったです。

それから、ボリビアにいらした元派遣教師の比嘉先生、与那覇先生、田場先生、名嘉先生など、みなさんがショッピングにもつきあってくれたり、良くしてくれました。おかげで楽しいウチナージュニアスタディー生活でした。

ウチナージュニアスタディー最後のお別れ会は、とてもつらいものでした。十日間という短いウチナージュニアスタディー期間でみんなと友達になり、別れるのがつらかったです。

イチャリバ・チョーデーの言葉のとおり、またいつかどこかで逢うことを約束して交流を深めていきたいと思ひます。

僕はこのウチナージュニアスタディーに参加することにより、世界には多くの日系ウチナーンチュがいることにビックリしました。僕も日系ウチナーンチュであることを誇りに思い、ウチナーンチュとして生まれてきたことに感謝しています。

このように僕にツアーに参加する機会を与えてくださったボリビア沖縄県人会にとっても感謝しています。

それから、沖縄県庁の方々、スタッフの方々、沖縄県の皆様には、僕達をこころよく受け入れてくださり、すばらしい体験を可能にしてくださいました。言葉では言い表せないほど心から感謝しています。ありがとうございました。

新垣 レチンア スエニ
カンボグランド沖縄県人会 (カンボグランド)

まず、この経験そしてプログラムのスタッフとボランティアについて、沖縄県に心から感謝します。また、カンボグランド沖縄県人会、親戚である金城家、ホームステイ先である崎浜家、最後に曾お祖父さんの故郷に行くという夢を応援してくれた私の家族に感謝します。

ウチナージュニアスタディを通して、私が感じたこと、学んだこと、感謝は言葉では十分に伝えることができません。祖先のいた場所を訪れたことで、沖縄の歴史を知る機会になりました。そして、その歴史からうちなーんちゅの勇気と団結が生まれているのだと思いました。

プログラムの活動で、美ら海などの観光地から首里城やうちなーんちゅの歴史を知る博物館まで訪れました。一番気に入った場所は、平和の礎です。沖縄は戦争でとても苦労をしたが、その歴史を次の世代に伝えていくと感じました。そこには、沖縄戦の写真や戦争体験者の作文が展示されていました。外の礎には、国籍に関わらず20万人以上の戦没者の名前が刻まれていました。それは、平和を思う本当の気持ちであり、これからも沖縄の人々の心にあり続けたいと思います。沖縄の文化と歴史を知ったことで、言葉、文化も違うプログラムの参加者がうちなーんちゅの心という共通点を通して絆を作ることができました。初めて会ったとき、私たちはすぐに仲良くなりました。私たちブラジル人はブラジルのダンスを皆に教えて踊りました。とても楽しかったです。彼らとは今でもフェイスブックで連絡を取り合っています。有名なブラジルの詩人キンターナマリオは「友情は決してなくなることはない」と言っています。

改めて、沖縄県の関係者の皆様に、このような特別な経験をさせて頂いたことに感謝の気持ちを伝えたいと思います。この経験を通して、自分がうちなーんちゅであることを強く感じるようになり、ブラジルに帰っても文化や祖先が残した大切なことを大事に守っていきたく思うようになりました。そして、それを次の世代に伝えたいです。いつかもう一度沖縄に行って勉強をしたいです。また、ウチナージュニアスタディツアーを通して学んだ戦争のことや自分のルーツのことを忘れずに、これからも夢や目的に向かって進んでいきたいと思っています。

坂本・ケールン・たつお

ハワイ沖縄県人会(アメリカ合衆国)

皆さん、ちゅーがなびら。

こんにちは、皆さん。私は最近30人の参加者とともに2012年うちなージュニアスタディツアーに参加しました。沖縄から15人、あとの15人はドイツ、アメリカ、ブラジル、アルゼンチン、ボリビア、ペルーやメキシコから参加していました。それまでに、学校のバンドやハワイ青年シンフォニーの公演で旅行をすることはありましたが、一人で旅行をするのは初めてでした。最初はとてもわくわくしていましたが、空港に着くと、とても緊張しました。なぜなら自分が注意を払わなかったり、きちんと質問ができなかったりすると、外国で迷ってしまう事になるかもしれないからです。自分の事は自分でやらなければならないので、一種の責任感も生まれました。荷物を受け取るようにとか、あれをしなさい、これをしなさいと指示してくれる人はいないので、心配でしたが、どうにか乗り切る事ができました。飛行機の中で出会ったモーゼス・ギブスさんは私に手荷物を受け取る手順や帰国の際に空港で手荷物を預ける手順について教えてくれました。私がお礼を言うと、ギブスさんは「お返しは「payitforwardで」とおっしゃいました。

それは、誰か他の人が困っている時に助けることが自分が受けた親切へのお返しになるということです。ギブスさんがハワイから日本へのフライトの間私のことを気にかけて親切にしてくださいましたことにも感謝しているので、絶対にこれから困っている人を助けようと思いました。沖縄にてツアーに参加した短い期間で、私は沖縄の歴史、異なった視点を学びましたし、これから大切にしていきたい貴重な考え方も学びました。私はハワイと沖縄と他の国の絆を強くする糸の一部になりたいです。このジュニアスタディツアーで築いた友情を本当に大切にしていきたいです。一生心に留めておきたい経験です。ツアーの初日、参加者全員かんぼレクセンターに集合して、自分と出身国について紹介しました。その後歓迎会があり、プログラムを担当するヒラタ氏からご挨拶がありました。ヒラタ氏は私たちの滞在が楽しいものになるようにと祈っているとおっしゃっていました。スピーチの後のディナーでは、参加者それぞれに何か特技を披露するように依頼があったので、私はウクレレで歌を2曲歌いました。

キンジョウ・カズミツ氏は私たちに人生と人として成功するにはどうしたらよいのかということについてお話しをしてくださりました。キンジョウ氏のスピーチを聴いて、自分だけでなく他の人達を助けるためにもっとたくさんのお返しをしなければいけないことに気づきました。

この旅のハイライトは沖縄県庁に行き仲井真弘多知事にお会いしたこと、たくさんの人を魅了する芸術作品でもある首里城へ訪問したこと、色がとても鮮やかで、なぜこの城が国の宝となっているかも納得できます。首里城のあと、金城町の石畳にもきました。この石畳はとても印象的でした。なぜなら、石畳はとても長いですが、昔の沖縄の人達には穴の形に合わせて岩を切る機械がなかったからです。しかし、この道では石が完璧に合わさっていません。戦争によって壊されることがなかったこの石畳の存在はとても貴重です。また、沖縄科学技術大学院大学にも行きました。ひと味変わっていておもしろかったです。例えば、副学長の先生は「チャンプルーのようなものです。それぞれの具材は個別でもよいのだけれど、合わさったときに素晴らしいです。」とおっしゃいました。副学長の方は会社や機関全体のことについて言っているのだと思いました。なぜならOISTでは活動やリサーチの分野を分ける壁はなく、大学院大学滞りを上るのにお互いを助け合い、参加者と絆を強める素晴らしい機会となりました。

糸満の平和祈念資料館にも行きました。展示は目の当たりに見ているようでとても恐ろしいものでした。第2次世界大戦中の沖縄の歴史を見て悲しくなりました。例えば、幼い男の子が裸で泥の中にいる写真がありました。彼は火炎放射器で大きなやけどをおい、それを冷やすために泥の中に入ったのです。また、溝で自殺をした家族の写真も数点ありました。写真はぞっとするものですが、第2次世界大戦の間には現実だったのです。

資料館を出た後、大きな丘があります。その崖からは美しいけれども広大な荒々しいターコイズ色の海が見下ろすことができます。この鮮やかな緑の草で覆われた美しい丘は「自殺丘」として知られ、戦争によって荒らされることはありませんでした。この名前がついたのは、アメリカ軍に捕まることを避けるた

めに多くの沖縄県民がこの丘から飛び降りて自殺を図ったからです。この場所に来て、祖母が沖縄に来た時に戦争記念碑で撮った写真を思い出しました。祖母は記念碑の壁に刻まれた自分の兄の名前の隣で写真を撮りました。彼は戦闘機のパイロットで戦争を生き延びることありませんでした。

私たちは焼き物の町で「まちやぐわ」という文化活動に参加しました。その土地には焼き物に必要な材料がふんだんにありました。町の中心に窯があったのが、非常におもしろかったです。その窯はハワイにある窯にとっても似ていました。ハワイにあるものも壊れていますが。

県立歴史博物館にも行きました。博物館の中には昔役人が着ていた伝統的な衣装の展示がありました。歴史博物館でも平和祈念資料館でも、貿易があったことにより中国文化がたくさん沖縄に入ってきたと説明がありました。その例の一つが博物館にあった中国の進貢船やフレームや裏の部分が銀でできた三線です。

祈念資料館では、ガイドの方が、どうして沖縄の人達がアメリカの影響を取り除くために日本化しなければならなかったかについてお話しくださいました。日本人が沖縄口を使った沖縄人に(私の造語ですが)「恥の首飾り」を着用させていたことも教えてくださいました。また、日本がどのように琉球王国を滅ぼしたか、沖縄人がアメリカの影響を嫌ったので、速やかに日本化することを選んだことについても話してくださいました。そして、アメリカ人が沖縄に来た時に、沖縄の人達が変わることは強要しませんでした。軍事基地を建て、そこに軍関係者を雇ったことから、土地を奪い雇用の機会が失われることになったことも知りました。

てんぶすでは、なぜ移民達が仕事を見つけるために沖縄を離れたのかという授業を受けました。また、てんぶすでたくさんのワークショップを受けましたが、エイサーのワークショップではミルクムナリの演舞をてんぶすの前で披露しました。

この旅は信じられないくらい新しいことを学べる機会でした。もう一度最初から参加したいくらいです。沖縄で親戚と過ごした時間は夢の様で、どれだけ彼らが私の家族の一員であることに感謝しているかは一言では言い表せません。私のいとこであるアラカキ・ユウジロウとはたくさんの時間を過ごせました。玉泉洞やハブ博物館、そして豊見城でたくさんのよい思い出を作りました。とてもタイミングが良いことに私が到着した次の日が浦添のてだこ祭りの日で、屋敷通りでパレードがありました。そして、何よりも素晴らしいのは南風原協会のメンバーとして2012年のオキナワン・フェスティバルに来ていた伯父のアラカキ・ヨシノリともより多くの時間を過ごすことができたことです。とても素晴らしい人物で、たくさんの英語、ハワイの歌やアーティストを知っていることに驚きました。

この機会を実現させてくださった皆さんにお礼を申し上げます。沖縄県庁、ハワイ沖縄県人会、母、父、カイル、ジュリーおばさん、ジェイソンコーチ、ブリル、リース、タカラのおばあちゃん、そして私を勇気づけて支えてくれたおじさんおばさん。そして特にバーニー・ミヤシロさんとジェーン・セリカクさんにもお礼を言いたいです。ツアーへの応募から終了までこの行事を全て通して皆さんがくださった愛情と支援に感謝します。この素晴らしい機会をいただき、本当

にありがとうございました。これから何年も大切にしていきたい非常に貴重な体験でした。

ロバート 時勇・上原

シカゴ沖縄県人会(アメリカ合衆国)

7月のウチナージュニアスタディーツアーに参加し、人生の中で最高の経験ができた。プログラムは、僕がシカゴでの生活の中で気にもとめず、見逃していた沖縄の歴史と文化を教えてくれた。シカゴ市の県人会のいても大事な沖縄文化の資源や機会をあまり大切にできなかったと気付いた。

沖縄で沢山の友達ができ、DC、ハワイ州、フロリダ州、ジョージア州からのウチナーンチュは沖縄の祖先がいて、アメリカの中でそばに友人がいる事に気付いて、世界が小さくなってきたと感じる。ブラジル、アルゼンチン、メキシコ、ベル、カナダ、ドイツからのウチナーンチュもいたから、沖縄にいた一週間は本当に凄いなと思っていた。なぜなら沢山の国から来ていたが、どんな国から来てても共通点があり、その共通点のおかげで、みながまるで幼稚園から一緒に育った子供みたいに強い絆を作ることができた。

もし、僕の沖縄にいる家族と一緒に、首里城、沖縄県公文書館、縄県平和祈念資料館、ちゅうら海水族館、つづじエコーパーク、かんぼレックセンターに家族と一緒にいられたら、ジュニアスタディーツアーほどはそんなに楽しくなかったら。僕の沖縄の家族は何回も観光地に行っているから、家族にとってはつまらなかったはずでしょう。これらの教育施設は、ジュニアスタディーツアーの皆と一緒に初めて行ったからこそとても面白くて価値があった。ジュニアスタディーツアーのおかげで、自由時間には、沖縄とその文化を勉強したくなってきた。シカゴ市の県人会のエイサー団に参加しているが、三線や沖縄の空手等の沖縄のアクティビティを試したい。

皆がジュニアスタディーツアーに参加するべきだと思ってる。人生が変わる誰でも参加できるから。このツアーのおかげで沖縄の素晴らしい訪問地の一部を見に行くだけでなく、世界中から素晴らしい仲間もできる。

Paulaさん、沖縄の政府に推薦状を書いてくれて、ありがとうございます。Yukie Saucedoさん、沖縄と連絡するのを手伝ってくれて、ありがとうございます。おじいさん、おばあさん、ツアー中に支えてくれて、ありがとうございます。シカゴ県人会、エイサーを教えてください、ありがとうございます。県人会のおかげで、仲間とエイサー上演した時に、他のメンバーの半分くらいはうまく踊れた。

2012年のウチナージュニアスタディーツアーの経験は自分も、自分自身の見方も変えた。最初はいろいろな国からの外国人と出会ったり、1週間も一緒に住

んだりすることは不安だったから、あたかも自分がないかのようにして、誰も見ないようにした。オリエンテーションでの指定席はシカゴ出身のウエハラ・ロビーの隣だった。他の参加者を待つ間に、ちょっと話し合っ、すぐに友達になった。沖縄出身の宮里と言う男性も僕に話してくれて、あっという間に友達になった。初めの1時間の間に、沢山の参加者と話して、半分ぐらい友達になった！1日を終える頃までに4つの言語の単語ゲームをしたり、出身地のプレゼンテーションをしたりしたので、子供の頃からの友達のように簡単に会話できた。そんな早くに友達になるのは初めてだった。早起きがあると普通は早く寝たほうがいいけど、参加者の多くがホテルルームに集まって、深夜まで喋った。その1日に作った絆のおかげで、スタディーツアーが楽しみになってきた。

ジュニアスタディーツアーの間に沢山の沖縄の歴史的な所を見に行った。最初は首里城。前にも行ったが、新しい友達と一緒に行くほうが楽しかった。帰る時までに写真を沢山撮ったので、カメラの容量は半分ぐらい使った。首里城に行ったおかげで、中国と日本の文化からいろいろな部分を得てできた沖縄の文化の珍しさがわかってきた。沖縄県公文書館では、沖縄の歴史が勉強になった。記事や書類を熟読して、いろいろな外国や外国人の沖縄への影響のことを勉強した。沖縄県平和祈念資料館では、沖縄にあった戦争と戦闘についてのビデオを見た。第二次世界大戦中、沖縄県民が実際どのようなようであったか展示された部屋に入った。その展示のせいで皆落ち込んでしまったが、僕は沖縄の県民の苦しさが分かってきた。僕の沖縄についての発想が変わった。沖縄を旅行する前は、沖縄は幸せで歴史も変わらない島と思ったが、平和祈念資料館の後では沖縄の地、文化、県民がみんないろいろな影響で変わったのに気付いた。ワシントンDCの戦没者記念碑と同じく、第二次世界大戦に亡くなった方々の名前が書いてある。参加者の1人は親戚の名前を見つけ、えんぴつで、紙に書き写した。60年も後になって、彼女が自分の親戚とまたつながる事ができた後親戚が見つけたのはとても感激した。ジュニアスタディーツアーの間に、沖縄の歴史や文化のことをたくさん学び凄く勉強になって、太平洋の小さな島についての見方が変わった。

ジュニアスタディーツアーは美ら海水族館、エメラルドビーチ、国際通り等の有名場所にも行った。美ら海水族館で沢山の沖縄に居る魚に魅了された。とても面白かった。2つ目の展示までに、魚類の沢山の名前がもう覚えられなかった！世界でも有名な美ら海に行けるのは嬉しかった。1番好きな展示は主要な展示のジンベイザメ3匹だった。そんなに大きい魚が1匹でも水族館で生きられるのが信じられなかったのに、まして3匹とは！水族館の後、外のいるかショーを見た。最後にはタンクに寄って、いるかにはねられた。皆がタンクに飛び上がった時のことは、まだよく覚えている。Tシャツの片側だけがぬれたから皆笑った。水族館の後、バスに乗ってエメラルドビーチに行った。ビーチでサッカーをしたり、バレーをしたり、綺麗で透明度が高い海で泳いだりした。皆は“浮き”(人が遊ぶために設置されていた)に乗ってみたが、片側が重くて倒れた。“浮き”に乗ったところも、海に遊んだところも写真を沢山取った。国際通りに行った時に、面白い店と陶器店を見た。アメリカと違って、那覇の道はとても狭い。

その狭い道を見たのは面白かった。車が本当にその狭い道に運転できる？と思った。思い出はとても強い。目を閉じたら、記憶はよみがえる。ジュニアスタディーツアーの間に沢山の体験をした。例えば、琉球国祭り太鼓、トレッキング、長距離バスに乗ったこと、民芸作り等。参加者の皆はエイサーを習った。皆がパラソクとエイサーの衣装を貰った。毎日練習して、2回観客の前で踊った。1回目は国際通りにテレビカメラの前で踊って、2回目は閉会式で。チーム育成をしながら、同時に沖縄の伝統的な文化を勉強できたので、楽しかった。半日間、東の沢でトレッキングした。難しいトレックで皆が相互に助け合ったから、東の沢が一番役立ったチーム育成の活動だと思う。水が深く、石が沢山あったから、皆と一緒に助け合って、そのおかげで無事に最後まで行けた。トレックはとてもスリルがあったから、もう一度チャレンジしてみたい。バスに乗っている時間が長かったので、時間をつぶすために、カラオケをした。マイクは2つだけあったが、皆と一緒に歌った。「島んちゅの宝」みたいなクラシック曲も、「ベストフレンド」みたいなJポップな曲も歌った。カラオケと一緒に歌ったおかげで、シャイな参加者は喋ったり、歌ったりしやすくなった。最後は民芸作り。選択肢は紅型、首里織り、琉球ガラスだった。1番人気だったのは琉球ガラスだったが、ブラジルのユウジと一緒に首里織りを選んだ。アルゼンチンのカロリーナと、ブラジルのマリナも首里織りを試した。首里織り造りをしている間、僕達4人が仲良くなった。首里織りはコースターだったから、晩ご飯に使った。ジュニアスタディーツアーの活動のおかげで、皆が仲良くなった。

総じて、2012年ウチナージュニアスタディーツアーは人生の中で最高の経験だった。そのような素晴らしいプログラムに参加できる機会があってよかった。ツアーのおかげで沖縄の歴史を学べた上、自分の中のウチナーンチュを引き出すことができた。ツアー後すぐに沖縄の音楽をポッドにダウンロードして、毎日聞く。アメリカの友達にエイサーを教えている。ツアーは僕の中にあるウチナー魂に火をつけただけでなく、沢山の国から一生の友達を見つけたことができた。素晴らしいスタッフとボランティアのおかげでツアーがうまく行った。これからのジュニアスタディーツアーにリーダーやボランティアで参加するのを楽しみにしている。ジュニアアンバサダーとしてウチナー文化を元気にして、世界に発信したい。



1週間で2012年のウチナージュニアスタディーツアーは沖縄出身14人の生徒と外国出身14人の生徒、28名の中高生を家族にした。参加者は仲良くなって、ツアー後も友達である。違う言語や文化があっても、私たちは意思疎通を図り、互いに関わり合った。その時に、ウチナー文化がいかに力があり、人々を結びつけるかに気付いた。28人のウチナーンチュと家族になっただけではなく、沖縄文化とその文化を守り、世界に広めた祖先のことを学んだ。沖縄県平和祈念資料館を見に行って、第2次世界大戦中に亡くなった方々のことを考えた。

首里城と沖縄県立博物館で琉球時代から現在までの沖縄を勉強した。国際通りで沢山の店と地元の人たちを見た。美ら海水族館でたくさんのお魚の海生物を見た。那覇市伝統工芸館で皆が伝統的な民芸品作りをした。私は青い琉球ガラスのカップを作った。私の最高の経験の1つは、沖縄で最近建設された大学で、ハイテク研究と科学的実験を行うOISTに訪問した事だ。現代的なキャンパス、面白いハイテク機械、生徒と先生たちのコラボシステムが気に入った。アウトドア活動も楽しかった、特にエメラルドビーチと北部の東の沢のトレッキング。短い1週間でもそんなに沢山の所に行けたのは凄いと思う。私が知らなかった素晴らしい所が沢山見えた。毎晩夕飯後、ツアーの参加者皆で国際通りのエイサーパフォーマンスのために練習した。ミルクムナリのダンスを学びながら、グループで練習した。複雑なダンスの動きを学ぶのは、ちょっと時間がかかった。でも、すぐに皆が上手になって、心が1つになって踊った。練習は楽しくて、パフォーマンスは最高の気分だった。元気があふれだして、皆の心の中のウチナーの魂に火がついた。

歓迎式から閉会式の間は夢のようだった。ウチナージュニアスタディーツアーの参加者、スタッフ、ウチナー文化と絆を作るとはとても楽しかったから。この夏の1週間は、これ以上ないほど最高だった。スタッフは参加者1人1人に協力的で親切だった。参加者1人1人との友情は私の宝になった。参加者とスタッフはもう毎日会えないので、ツアーの最後は辛かった。それでも、参加者になって、ウチナー文化を勉強して、ウチナーンチュと交流できて、世界のウチナーンチュに会うのは掛け替えのない経験だった。ジュニアスタディーツアーは意義に溢れた経験だったので、自分の地元の県人会にもっと参加したいと思うようになった。ウチナー文化をもっと学び、広めて、祖先と同じように守りたい。そうすれば、その文化は未来の世代のために残るのだから。

ジーン・ジェロム・チャンパレン

アトランタ沖縄県人会(アメリカ合衆国)

一生に起こることは未来を変える。7月の沖縄ジュニアスタディーツアーはこれまでの人生の中で、一番影響されたことだ。お母さんのふるさとのことを勉強して、「ウチナーンチュになりたい！」と望んだ。伝統について習うジュニアスタディーツアーが僕の世界観を大いに変えた。

沖縄から帰ってきた日は、飛行機の移動で、ものすごく疲れた。すぐに沖縄が恋しくて、もう一度飛行機に乗って日本に行き、住みに行きたかった。ツアーの後、生活が徐々に変わり、沖縄から去ったことを後悔してしまっただ。何回も、沖縄は本当の家と考えていた。今でも、ジュニアスタディーツアーの家族と友達からの全部のプレゼントを持っている。時々プレゼントを見て、7月の冒険と幸せを思い出さずにはいられないそれに、輝かしいジュニアスタディーツアーに参加した時間は現在の生活に強い影響がある。沖縄の歴史は教科書やインターネットで読んだ歴史より凄いと思う。自分で史跡を歩いたり、昔にこの世を去った、平和の礎のヒーローの名前を読んだ

り、歴史の一部になった気がした事で、とても深い印象が残った。今でも沖縄、僕の二番目のふるさとのことを1つも忘れていない。

沖縄での経験によって僕の人生が変わった。その小さい島について習ったことはまるでアメリカより大きいように感じる。自由時間に、インターネットやニュースで日本の最新の出来事を調べている。日本と中国の両者が所有権を主張している、尖閣諸島の紛争のことを読んだとき、本当に残念だと思った。もう争わなくて解決が出来るように心から望んでいる。北朝鮮が沖縄の上にフィリピンの方角へのミサイルを発射するのを聞いたときは、僕も怒った。ジュニアスタディーツアーに参加する前は、日本を調べようと1回でも考えたことがなかった。でも、もう日本のことを知りたいと感じている。それは、2012年のジュニアスタディーツアーに参加したおかげ。招待してくれた沖縄県にも、沖縄で会ったお世話になってくれた人々にも感謝している。僕は沖縄にかなりの恩義がある。沖縄が僕に歴史等を教えてくれたように、僕はこれから他の人々に沖縄のことを教える。

内間 真理

ドイツ沖縄県人会(ドイツ)

2012年7月に開催されたウチナージュニアスタディーは私にとって忘れることの出来ない体験となりました。

特に、メモリアル平和公園と付随博物館を訪れるイベントでは、第2次世界大戦で犠牲になった方々の名前が記載された追悼碑、ドキュメント映画、展示の写真から戦争がいかに恐ろしいか、戦争が人間にもたらす悲惨さ苦しみを強く感じました。同時に、メモリアル平和公園の存在の意義が、戦争の犠牲者を弔い人類への警告とするのみではなく、沖縄から世界に向け平和宣言を発信していることが良く理解できました。

また、環境も言葉も違う、いろいろな国から集った沖縄に根を持つ青少年が、充実したスケジュール、ワークショップをとおして、首里城、那覇の町を探索して沖縄の歴史、文化の知識を得、日々の練習でエイサーを習い、国際通りで芸能披露したこと、沖縄の海・川の自然との触合い等々、沖縄の知識を深めることができた。なによりも、この機会に、友情の絆を深められたことをとても嬉しく思う。ここに、この素晴らしい、2012年のウチナージュニアスタディーに参加できたこと、この企画と実施にご協力いただいた皆様に心より感謝を述べたい。

これを踏まえ、今後、さらに沖縄の知識を深め、将来、沖縄に役立つ人材として貢献したいと思う。

最後に、ウチナージュニアスタディーに際し、私事ながら、従姉妹の結婚式に参加できたこと、さらに11月に亡くなった癌の祖父を見舞うことが出来たことに感謝を述べたい。

県内参加者感想文

与坂 勇姫(青年リーダー)

国際電子ビジネス専門学校

このツアーが始まる前、私は不安と緊張でいっぱいでした。

初めて青年リーダーという立場に立って参加者全体をまとめるというのに対し、自分にちゃんと出来るのだろうか、うまくやれていけるのだろうかとひたすら思っていました。また、学生時代の年齢差はたった1つ違うだけでも関わり方が大きく変わってくるので、そういった面でも溶け込めるのかというのも不安要素の1つでした。

しかし、ツアーが始まり、参加者の子たちの雰囲気を見てみると例年よりも全体が仲良くなるスピードがとても速く、初日から「輪」が出来上がっていてすごく驚きました。私のことも「ゆーきちゃん」「ゆきねえねえ」「ゆーきさん」などと慕ってくれ、頼ってくれ、ついてきてくれたので、私の抱えていた不安も一気になくなり、心から楽しむことが出来ました。

ウェルカムパーティーから始まって、首里城も伝統工芸体験もOIST訪問も美ら海も海水浴もトレッキングもキャンプファイヤーもまちぐわー散策もエイサー披露もさよならパーティーも、毎日のエイサー練習とparty nightも、みんなと過ごしたなにかも最高の思い出となりました。

正直、自分が参加者のときのツアーでは後悔したことが多かったのですが、今回このツアーに参加してみんなに出逢い、新たに素晴らしい経験をさせてもらった感動をもう一度味わわせてもらったことに、とても感謝しています。また私自身、大きく成長させてもらったところもたくさんあって、今後の課題も見つけることができました。

毎日毎日が楽しくて、時間が過ぎることがこんなにも惜しく思えたのもみんなのおかげです。本当にありがとうございます。

UJSのみんなは一生、私のかわいい妹、弟たちです！これから先、誰がどこにいても何があっても、私はみんなの味方だからいつでも頼ってください。もちろんそれは私だけではなく、UJS familyの誰もがみんなの味方。これだけは絶対に忘れないでね！またいつか、海外組も国内組もみんな集まって遊ぼうね！みんなみんな大好きだよ！

UJS family forever！！Love you guys！！

吉野 楓

知念中学校

私が今回のウチナージュニアスタディーに参加して得られたものは大きく分けて3つあります。

一つ目は「色々な視点からの考え方がある」という事を知れたことです。県内チームも海外チームもスタッフさん達もとっても優しく、たくさんの事を知っていて、そんな人たちと一週間の濃い時間を過ごせた事で考え方や文化の違いなどについて、とても大きな影響を受けました。日本では普通と考えられていることもアメリカやカナダではビックリされることだったりもしました。

ですが、その違いを「私たちの国ではこうなのになぜあなた達の国ではそうなの？おかしいよ！」ととらえるのではなく「そういう考え方もあるんだね」と、お互いの文化を受け入れ合い高めていけるような関係を築くことが大切だということも学ぶことができました。

二つ目は大切な「仲間」です。私は今回のウチナージュニアスタディーの中で3人しかいない中学生のうちの1人だったこともあり、最初は「年上ばかりの中になじめるかな」と不安を抱えていました。でも先輩達は皆、自分の目標をしっかり持ってがんばっている素晴らしい方々で「私もこんなお兄ちゃん、お姉ちゃんみたいになりたいな」と思える人ばかりでした。海外チームも県内チームもみんなフレンドリーなメンバーだったので年など関係なくすぐに仲良くなる事ができて私はとっても嬉しかったです。本当に素敵な仲間達と出会えたことに心から感謝しています。

三つ目は「夢」です。私が海外のメンバーとおしゃべりしていた時、言葉の壁に挟まれてコミュニケーションがいきづまってしまったことがありました。そんな場面で何度も助けて下さった、アルトゥーロさんやエリカさん、サキねえねえ達を見て「私も人と人をつなぐコミュニケーションのかけ橋のような人になりたいな」という夢を持つことができました。又、アルトゥーロさんとお話している中で「10か国語しゃべれるようになりたい！」という目標を持つこともできました。これからその夢や目標を叶える為に努力を積み重ね一歩一歩、歩んでいきたいと思えます。そして夢を叶えた時にもう一度みんなが集まってダンスパーティーをしたいです。

吉原 玖美子

琉球大学付属中学校

私は、UJS2012に参加して、普段の生活で体験できないことをしました。それは、世界のウチナーンチュの人々を国際交流をすることです。これまで私は、国際交流をしたくても、英語を話せないといけなかったので、遠慮していました。ですが、今回、UJS2012に参加して、英語を話せるようになりたいと思いました。そして、高校生になったら県費の一年間留学でアメリカに行きたいと思えます。

UJS2012に参加したことで、新しい目標や夢、やりたいことが見つかりました。私の将来の夢は、アナウンサーになりたいので、それに向かって頑張りたいです。

最後に、UJS2012に参加した時は、みんなと仲良くなれるのか不安でした。ですが、その不安も一日で消え、最終日にはかけがえのない思い出へと変わっていました。

大石根さん、今回UJS2012に参加させていただき本当にありがとうございました。



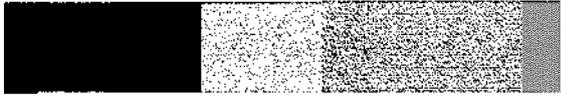
「お父さん、さっき一緒に写真を撮った真理 ね、四ヶ国語も話せるんだよ！」

最終日のエイサーの披露が終わり、帰宅途中の車の中で、私は泣きながら英会話を始めたい！と両親に話しました。この一週間は毎日が楽しいイベントばかりでしたが、私の心の奥の隅には海外のウチナーンチュ子弟の仲間に対して、憧れや尊敬だけではなく、何か劣等感みたいなものを感じていました。なぜなら母国語や英語は当たり前、日本語もとても上手な同世代の仲間を目の前にして、私が唯一使える言語は日本語だけだったからです。自分では英語が得意なつもりでしたが、自分の英語だけで伝わらない言語の壁を大きく感じ、今の自分の英語力に危機感を覚えました。初めのうちは両親に何度も断られたりもしましたが、最後には私の本気の気持ちを理解して貰うことができました。今では週に一度、マンツーマンレッスンの英会話を習っています。LやR、BやV等の発音が難しいですが、ネイティブとの英会話を目指して毎日楽しく頑張っています。

又、9月にはUJSプログラムでの体験を踏まえて、第59回国際理解・国際協力のための主張コンクールにも挑戦しました。当日はとても緊張してしまいましたが、一生懸命自分の意見を言うことができ良かったです。

そしてもう一つ変わったことがあります。それは、志望校をワンランク上の大学に変えたことです。今までの自分にとっては遠い存在の学校だったのだから憧れの気持ちを持っているだけだったのですが、今回のプログラム参加したことで海外で頑張っている仲間達や引率して下さった先生方からたくさんの刺激を貰い、全力でぶつかっていきこう！という気持ちになれました。今は旧帝大の医学部を目指して勉強にも励んでいます。

このプログラムに参加したら人生が変わる！と聞いていましたが実際に本当だということを実感しました。こんなに素敵なプログラムに参加することができたので、ただ「楽しかった」だけではなく、自分のステップアップのいいきっかけになるようにこれからも頑張っていきます！



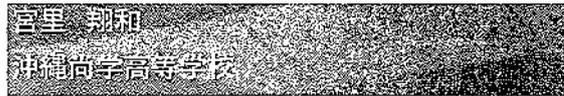
私は、去った7月24日～30日に行われた「UJS2012」に参加しました。三ヶ月以上過ぎた今でもみんなと過ごした時間がつい昨日の様に思い出されます。

私がUJSTに参加して強く感じたのは、「いちやりばちよーでー」と言う言葉は本当だったという事です。海外メンバーはもちろん、日本メンバーも初めて会う人ばかりでみんな緊張していたと思います。そして海外メンバーとは上手く会話が出来ないなんてこともあったりしました。ですが、最終日のパーティーでは全員で泣き、肩を

組み、別れを惜んでいるときにふと「いちやりばちよーでー」とはこの事だなと思いました。Facebook等で交流したりしていると「出会えば皆兄弟」まさにその通りだと思います。

そして私がUJSTに参加して変わった事は、「何事にも勇気を出して率先して挑戦してみよう」という様になった事です。私はとても人見知りで、このツアーに参加するのでもとても勇気が必要でした。しかし参加してからは様々な事にチャレンジしています。その一つが学校内で募集があった県外高校研修にも応募し、先日長崎の高校に行っていました。また、以前から興味があったボランティア活動にも参加しようと考えています。そして、新聞記事で、世界のウチナーンチュのことが書かれている記事を読んで、切り抜いたりし、世界中のウチナーンチュの活躍を気にかけるようになりました。

最後に、私はUJSTに参加することができ本当に良かったと思います。UJSTでは、とても貴重な体験をする事ができました。来年は受験でお手伝いは出来ませんが、ぜひ機会があればまた違う形で参加させていただきたいです。素敵な機会をありがとうございました。



宮里 翔和
出雲高等学校

僕は、ウチナージュニアスタディーツアーを通して、とても大切なことを学びました。それは、お互いの文化を知り、それを受け入れて、また自分の国の文化も伝えていくということです。世界のいろいろな国から来た友達の文化は全く違って、とても新鮮で、様々な国の文化について、もっと勉強したいなと思いました。それだけではなく、やはり自分の国の文化についても、深く勉強し、伝えていく事も大切だなと思いました。また、改めて英語のおもしろさ、英語で会話をする楽しさを感じました。それと、ジュニアスタディーツアーを通して、たくさんの国の友達がたくさんできました。それは、「友達」ではなく「家族」というような存在になりました。

毎日、1週間近くも一緒に過ごし、ごはんを食べるとき、寝るとき、遊ぶときもいつも一緒でした。本当に毎日が充実していて、最後の日になるのが、少なくとも自分は嫌でした。僕たちは、初日からとても仲良しで、テンションが上がりがすぎて、このままでも大丈夫なのかというくらい騒いでいました。僕たちは、睡眠時間を削ってでもみんなと一緒に交流したくて、夜更かしして翌日が大変だった日もありました。だけど、そんな日もみんなと一緒にいると、とても楽しくて、眠気なんて気にしませんでした。そんな楽しい時間も終わりに近づくと、とても悲しくなりました。空港に見送りにいくと、朝はたくさん人がいたのに、夜になるにつれ、みんなそれぞれの国へ帰っていき、なんだか心がポツカリあいたような気分になりました。そんな自分が嫌で、学校の友達よりも、ジュニアスタディーツアーの「家族」に会いたくなりました。

それと同時に自分の目標ができ、次にみんなと会うときは、英語がもっと上達していて、自国の文化も身につけて、それが伝えられるようになると決めました。今もみんなに会うために英語をがんばっています。

これからも、UJSメンバーに会える日を目標にし、「前より英語が上達したね。」と言われるようになりたいです。

友寄 恵人

中部商業高等学校

私はUJSに参加して、県系人の思いを知ったり、披露されたから手や三線はとても素晴らしくて、沖縄に住んでいる私より誇りをもって、ウチナーンチュらしく活動していることにとっても嬉しく感じたと同時に、私も県民として沖縄の文化を伝えられるように三線の練習や方言をもっと頑張るって学ぼうと思いました。

UJSがおわってからは、10月に行われた商業英語スピーチコンテストに参加し、このUJSでの体験と想いを話し、二位に入賞することができました。

今の私は進路が決まり、来年からは内地での新しい生活がスタートしますが、そこでは県人会に入り、沖縄の文化や伝統を内地でも伝えられるような活動をしたいと思っています。

帰ってきたら、世界ウチナーンチュ大会の参加や、UJSツアーのボランティアとして参加できたらいいなと思っています。私はUJSに参加して、このようにやってみたいことや目標ができ、視野が広がりました。今はその目標に向けて、言語の勉強やJICAフェスティバルに足を運んだり、講演会を聴くなど、積極的に行動しているので毎日充実した楽しい日々を送っています。

今でもUJSのTシャツやメンバーとの写真を見て毎日のように思い出し、会いたくなりますが、いつか再会できることを信じているので、日本の反対側に友達がいると思うと誇らしく思います。

私がUJSで過ごした一週間は大切な思い出です。本当に参加できたこと、最高のメンバーに出会えたこと、感謝の気持ちでいっぱいです。

私のように、考えや視野が前向きに変わる人が、これからもっとこのツアーで増えたらいいなと思います。

與那嶺 加奈絵

向陽高等学校

私は、このウチナージュニアスタディー2012に参加できたことを誇りに思います。去年までは外国人がどうしても苦手で、外国人と交流するようなプログラムに参加するなんて思ってもみませんでした。

去年自分が出演したウチナーンチュ大会の関連事業ということで知っていたこのプログラムでしたが、学校で募集があり、これも何かの縁だと思い応募したのがきっかけでした。

ツアーが始まるまでは、やはり不安で仕方なく、沢山心配を抱えていましたが、「参加するなら精一杯楽しもう！」と心に決めてツアーに臨みました。でもいざ始めてみると県内参加者の皆はかなり気さくで、明朗快活な人ばかりですぐに打ちとけることができ、県内から海外へと、友達の輪が広がるのはあっというまでした。海外のみんなは、二ヶ国語を話せるのはあたり前で、三ヶ国語も話す人もいて、英語もまともに話せない自分に不甲斐なさを感じました。二期生のみんなとは家族以上の絆を築き、またいつか、みんなでツアーをする約束をしました。また個人的には次会うときには英語で会話しようねとアメリカの子と約束をしました。

帰ってきてから、英語への関心はさらに高まり、英語の授業が前以上に楽しくなりました。また、県内参加者の皆にも、とても良い刺激を受けて、前までは思いもしなかった留学も、考えるようになりました。今まではとてもせまかった自分の視野が、一気に広がりました。海外にいる私の大切な家族たちとも、今でもテレビ電話やフェイスブックで交流をつづけています。ウチナーンチュというつながりが、私達を結んでくれたんだと思います。UJSで出来た仲間と思いはかけがえのない一生の思い出です。本当に、参加させてくれてありがとうございました。これからも積極的に交流に参加したいです。

稲嶺 幸乃

コザ高等学校

私はUJSに参加して、他の人にはなかなか経験することが出来ない特別で貴重な一週間を過ごすことができました。このUJSのメンバーであることにすごく誇りを持っています。

一日一日過ごしていくなかで、感じることは沢山ありましたが、今少し時間をおいて考えてみると、やはり「いちやりばちよーでー」をととても実感しました。本当にたった一週間という短い期間だったにも関わらず今でも連絡を取り合ったり、みんな私にとって家族のような存在だということです。この家族の仲をいつまでも大切にしていきたいと思っています。

また、海外のメンバーは自国についての知識が豊富で、かつ沖縄についての知識も持っており、すごく驚きました。次年度は、沖縄の参加者も事前にテーマなどを決めて、みんなで発表する取り組みを設けることでより良い国際交流になると思います。まずは自分のこと、自分の住んでいる地域のことから知っていき、理解したうえで、相手のことも理解する。そしてそこから生まれる大きなパワーが国際交流の意味だと私は感じました。今回は、相手からパワーをもらうことが多かったのですが、これから色々な国際交流に参加しようと考えている分、反省をふまえてこれを次のステップに繋げていきたいと思いました。

このUJSを終えて、以前より英語や国際問題に関心を持つようになりました。テレビ番組やニュースなどで、交流したメンバーがいる国が出ていたら、自然と耳を傾けて、くいついている自分があります。離れていてもいつも私の心の中にいてなにか特別な力を持っている存在です。

UJSに参加して、様々なことが身につき、大きな大きな自信にも繋がりました。今後とも、UJSを続けて言っているか大同窓会をしてみたいです。ありがとうございました。

比嘉 夏子
那覇国際高等学校

私は今回のUJS2012に参加したことで、多くのことを得ることができました。中でもこの交流で得た友達は本当にすばらしく大切なものです。言語や文化の違いも気にならないほど仲良くなれました。そしてなによりも彼らから学んだことは、彼らの心の中にある沖縄です。海外に住んでいながら、沖縄の音楽、空手などの文化を大切にしている彼らは、私に沖縄の人の郷土愛を改めて感じさせてくれました。

移民についてのワークショップなどでは、私の知らない沖縄の移民の歴史、また県内の文化財を巡っていく中で流求の素晴らしさを再認識することができました。

今回のプログラムに参加したことで、以前よりも県内のニュースにも興味を持つようになり、ブラジルなどの海外のウチナーンチュの人々の活動にも注目するようになりました。そして何よりも、言語の習得はもちろん、これからの自分の進路選択にも留学を通して様々な沖縄をみてみたいという方向に、まだ明確ではありませんが、意欲が湧いてきました。本当にこのプログラムに参加することができてよかったと思います。多くの人と出会い、そこから繋がり、今でも関わっているということにとっても嬉しく思っています。またこれからも交流を続けていきたいです。

最後に、大石根さんをはじめとする今回のプログラムを支えてくださった方々にはとても感謝しています。充実していて本当に有意義で濃い一週間でした。プログラムの中以外でも学ぶことがあり、素敵な夏を過ごすことができました。ここで経験したことが、将来の新たな目標へのきっかけとなったので、これからも目標達成へ向けて頑張っていこうと思います。本当にありがとうございました。

名嘉真 英亮
首里東高等学校

僕は、このツアーに参加してとても楽しい時間を過ごすことができました。一緒に参加した仲間やお世話

になったサポーターの皆さんとは、パソコン等を使って今でも、時々集まって遊んだりしているので、あまり寂しいと思うことは、ないです。僕が一番UJSのツアーに参加して良かったと思う事は、様々な国の子供達と会話ができ、その国の特色やなかなか知ることができないような事を知ることができることです。そして、なにより、とても優しく、楽しい友達を作ることが出来た事が一番このツアーに参加して良かったなと思うことでした。それに、ツアーの中には、沖縄の歴史や昔使われていた井戸等を見学させてもらい、沖縄で育ってきた僕でも知らない様な沖縄を知る事も出来ました。そして、メンタル的な面においては、ツアーが終わって家に帰り、両親に体験したことを話をする、「遅くなったな」と喜んでいました。なので、このツアーで僕は、仲間、精神的強さ、知識の三分野で学び、得るものがあったので、とても満足できる一週間でした。

最後に、このツアーで学んだことや得たものを色々な所で活かせるように頑張りたいと思います。このツアーは、今までで一番楽しい一週間でした。ツアーに参加させてくださりありがとうございました。

大木 佳奈
沖縄尚学高等学校

私は2012年度ウチナージュニアスタディーに参加することができ、本当に運が良かったと思います。もし参加できていなければ私は成長せず、まだ沖縄に無関心なままここにいたでしょう。ウチナージュニアスタディーで一番感じたことは、私が今まであまり自分のなかでは感じなかったウチナーンチュであることの誇りです。このプログラムでは世界各国から沖縄の血の混じったウチナーンチュ青年達が来ていたのですが、予想以上に、沖縄の現地の青年以上に沖縄のことに興味を持ち、文化を取り入れ、私よりも三線が上手だったり、空手やエイサーができたり、沖縄の曲を私より知っていたり、と沖縄現地の人顔負けの沖縄への誇りを海外から来たみんなは持っていました。私の学校では空手の授業が必修なのですが、私はこのプログラムに参加するまで「なんで空手受けないといけないの。めんどくさい！」など文句ばかり言って、真面目に授業を受けていませんでした。しかし、海外の友達の空手演武を見て「負けてられない！」と思い、今では改心し空手授業があることに感謝し、真面目に取り組んでいます。このプログラムで出会った仲間は血の繋がったウチナーンチュ同士です。今は離れているけど家族のような存在になり、4か月経った今でも連絡を取り合っています。本当に色々なことを共有し、学びあい、一緒に喜んだり悲しんだり踊ったりした大切な仲間たちです。出会えたことに感謝しています。

4. 參考資料

受入実績

(1) 海外参加者

★はウチナンチュ大会開催年度

○海外参加者・引率者の国別内訳 【()は引率者の人数】

国名	年度	H13 ★	H14	H15	H16	H17	H18 ★	H19	H20	H21	H22	H23 ★	H24	計
ボリビア		4 (1)	2	2 (1)	2	2	4 (1)	2 (1)	1	1	1 (1)	3	1	25 (5)
ブラジル		8 (2)	3 (1)	3 (1)	3 (1)	3 (1)	6 (1)	3 (1)	3 (1)	3 (1)	3 (1)	2 (1)	3	43 (12)
うちカンボグランデ		2 (1)	1	1 (1)	1	1	2	1	1	1	1		1	13 (2)
アルゼンチン		4 (1)	2 (1)	2	2 (1)	2 (1)	3	2	2 (1)	2	2	3 (1)	1	27 (6)
ペルー		4 (1)	2 (1)	2 (1)	2 (1)	2 (1)	3 (1)	2 (1)	1	2 (1)	2	3	1	26 (8)
ベネズエラ		1 (1)												1 (1)
メキシコ		2 (1)					1			1	1	1	1	7 (1)
キューバ			1 (1)	1 (1)	1 (1)		1 (1)		1 (1)	1 (1)	1 (1)			7 (7)
フランス		1 (1)												1 (1)
イギリス		1 (1)				1 (1)	2					1		5 (2)
ドイツ		1 (1)						1			1 (1)		1	4 (2)
アメリカ		17 (4)	6 (2)	6 (4)	5 (1)	5 (1)	10 (2)	5 (1)	4 (1)	6 (1)	7 (1)	7 (1)	6	84 (19)
うちハワイ			2	2 (1)	1		1		1	1			1	10 (1)
うちグアム		1		1 (1)										2 (1)
カナダ		4 (2)	1 (1)	1	1	1	2	1	1	1	2	1	1	17 (3)
フィリピン		3 (1)	2 (1)	2 (1)	1	1	1	1						11 (3)
シンガポール			1 (1)											1 (1)
マレーシア							1		1			1		3
ニューカレドニア									1	1	1	1		4
計		50 (17)	20 (9)	19 (9)	17 (5)	17 (5)	34 (6)	17 (4)	15 (4)	18 (4)	21 (5)	23 (3)	15	266 (71)

○海外参加者の世代別内訳

国名	年度	H13 ★	H14	H15	H16	H17	H18 ★	H19	H20	H21	H22	H23 ★	H24	計
1世					1	2	1		1			1		6
2世		26	5	6	6	3	14	5	2	5	8	8	6	94
3世		21	8	10	8	9	13	8	5	8	7	8	4	109
4世		3	7	3	2	3	5	4	7	5	5	6	5	55
5世							1				1			2
計		50	20	19	17	17	34	17	15	18	21	23	15	266

○海外参加者の男女別内訳

国名	年度	H13 ★	H14	H15	H16	H17	H18 ★	H19	H20	H21	H22	H23 ★	H24	計
男子		30	9	5	7	6	15	6	4	6	9	10	7	114
女子		20	11	14	10	11	19	11	11	12	12	13	8	152
計		50	20	19	17	17	34	17	15	18	21	23	15	266

(2) 県内・県外参加者

○県内・県外参加者の学生別内訳

国名	年度	H13 ★	H14	H15	H16	H17	H18 ★	H19	H20	H21	H22	H23 ★	H24	計
小学生		9												9
中学生		24	13	7	5	4	11	4	4	5	6	7	2	92
高校生		17	11	18	15	15	22	13	11	13	15	17	12	179
その他													1	1
計		50	24	25	20	19	33	17	15	18	21	24	15	281

○県内・県外参加者の男女別内訳

国名	年度	H13 ★	H14	H15	H16	H17	H18 ★	H19	H20	H21	H22	H23 ★	H24	計
男子		15	6	4	4	5	7	3	3	4	3	4	2	60
女子		35	18	21	16	14	26	14	12	14	18	20	13	221
計		50	24	25	20	19	33	17	15	18	21	24	15	281

県内参加者名簿

	氏 名	学年	性別	学 校 名
1	與那嶺 瑠奈 RUNA YONAMINE	1	女	琉大付属中学校
2	松田 那海 NAMI MATSUDA	1	女	本部中学校
3	米須 百々絵 MOMOE KOMESU	2	女	浦西中学校
4	山川 泰史 TAISHI YAMAKAWA	2	男	安岡中学校
5	屋良 紗月 SATSUKI YARA	2	女	那覇中学校
6	島袋 由梨奈 YURINA SHIMABUKURO	3	女	安岡中学校
7	荻野 なつれ NATSURE OGINO	3	女	知念中学校
8	上原 秀征 HIDEYUKI UEHARA	1	男	読谷高校
9	渡眞利 裕紀 YUKI TOMARI	1	男	那覇商業高校
10	津波 愛乃 AINO TSUHA	2	女	読谷高校
11	玉元 七海 NANAMI TAMAMOTO	2	女	向陽高校
12	大城 琳果 RINKA OSHIRO	2	女	那覇西高校
13	平安名 萌恵 MOE HENNA	2	女	昭和薬科大付属高校
14	玉那覇 真理 MARI TAMANAHA	2	女	那覇西高校
15	神山 美咲 MISAKI KAMIYAMA	2	女	那覇西高校
16	上原 友希 YUKI UEHARA	2	女	向陽高校
17	呉屋 満理奈 MARINA GOYA	2	女	普天間高校
18	名渡山 杏奈 ANNA NADROYAMA	2	女	那覇西高校
19	知花 佳那子 KANAKO CHIBANA	2	女	読谷高校
20	入米蔵 康平 KOHEI IRIYONEKURA	3	男	浦添高校
21	町田 未帆 MIHO MACHIDA	3	女	中部農林高校
22	城間 怜乃 SATONO SHIROMA	3	女	小禄高校
23	照屋 香織 KAORI TERUYA	3	女	中部農林高校
24	新里 真梨奈 MARINA SHINZATO	3	女	中部農林高校

平成23年度 海外参加者名簿

海外参加者名簿

	氏名	性別	世代	国名	県人会名
1	ガブリエル ユウジ 中島 GABRIEL YUJI NAKASHIMA	男	2世	ブラジル	ブラジル沖縄県人会
2	宮城 カロリーナ 真由美 MIYAGI CAROLINA MAYUMI	女	2世		
3	呉屋 ジェシカ マリエル GOYA JESSICA MARIEL	女	3世	アルゼンチン	在亜沖縄県人連合会
4	諸喜田 ステファニア ひかり SHOKITA STEFANIA HIKARI	女	3世		
5	伊計 あゆみ IKEI AYUMI	女	1世		
6	ウエハラ チネン ケン ロベルト UEHARA CHINEN KEN ROBERTO	男	4世	ペルー	ペルー沖縄県人会
7	オオシロ ミネイ アレサンドラ ヨシミ OSHIRO MINEI ALESSANDRA TOSHIMI	女	4世		
8	マタヨシ キアン クリステイナ MATAYOSHI KIAN CRISTINA	女	3世		
9	中村 笑理 NAKAMURA EMIRI	女	2世	ボリビア	ボリビア沖縄県人会
10	大城 丈治 OSHIRO JOHJI	男	3世		
11	ホカマ 栄治 HOKAMA EIJI	男	3世		
12	仲宗根 ナカムラカリ 俊 NAKASONE NAKAMURAKARI SHUN MAURICIO	男	4世	メキシコ	メキシコ沖縄県人会
13	デリオン ブリッターニー DELEON BRITTANY	女	3世	アメリカ	ペンサコーラ沖縄県人会
14	ゲスリング マイヤ MIAYA GESSLING	女	3世		沖縄県人クラブ
15	ジュリアス テルジ ギャレス JULIUS TERUJI GALLES	男	2世		ニューメキシコ州沖縄県人会
16	ジェシカ ソシド JESSICA SAUCEDO	女	2世	シカゴ沖縄県人会	
17	デイツ ケネス ジェームス DALE ALLEN SCHLEHLEINⅢ	男	2世	インディアナ沖縄県人会	
18	ガッラード ビビアン カオリ GODDARD VIVIAN KAORI	女	3世	アトランタ沖縄県人会	
19	ニコラス マサヨシ アワクニ NICHOLAS MASAYOSHI AWAKUNI	男	4世	北米沖縄県人会	
20	タダシ トミヤマ TADASHI TOMIYAMA SCOTT	男	4世	カナダ	レスブリッジ沖縄文化協会
21	米須 リリー LILY KOMESU	女	2世	イギリス	イギリス沖縄県人会
22	オング ジャンシェン ONG JIANSHEN	男	2世	マレーシア	マレーシア県人会
23	トノン プリシリア THONON PRISCILLIA	女	4世	ニューカレドニア	ニューカレドニア協会

平成22年度 県内参加者名簿

県内参加者名簿

	氏 名	年 齢	性 別	学 校 名	
1	島 袋 安 生	AKI SHIMABUKURO	14	女	兼城中学校
2	比 嘉 優 仁	YUUNI HIGA	13	男	与那原中学校
3	前 盛 よもぎ	YOMOGI MAEMORI	14	女	伊原間中学校
4	赤 嶺 英 美	EIMI AKAMINE	13	女	小禄中学校
5	知 念 志 鶴 河	SHIZUKA CHINEN	14	女	知念中学校
6	高 里 夢 子	YUMEKO TAKAZATO	14	女	上山中学校
7	神 谷 美 帆	MIHO KAMIYA	16	女	糸満高校
8	山 城 美 鈴	MISUZU YAMASHIRO	17	女	糸満高校
9	上 原 壮 登	MASATO UEHARA	17	男	伊良部高校
10	新 垣 日 奈 子	HINAKO ARAKAKI	17	女	南部農林高校
11	富 名 腰 明 里	AKARI FUNAKOSHI	15	女	開邦高校
12	根 路 銘 真 歩	MAHO NEROME	15	女	開邦高校
13	浜 川 涼 夏	SUZUKA HAMAKAWA	15	女	那覇西高校
14	酒 井 真 歩	MAHO SAKAI	15	女	那覇高校
15	宮 城 朱 里	AKARI MIYAGI	16	女	那覇西高校
16	金 城 海 里	KAIRI KINJYO	17	男	浦添高校
17	渡 麻 里 江	MARIE WATARI	16	女	那覇国際高校
18	崎 本 未 来	MIRAI SAKIMOTO	16	女	那覇西高校
19	岸 本 麻 衣	MAI KISHIMOTO	16	女	那覇西高校
20	名 嘉 真 千 咲	CHISA NAKAMA	16	女	那覇国際高校
21	楚 南 琴 子	KOTONE SONAN	15	女	那覇西高校

平成22年度 海外参加者名簿

海外参加者名簿

	氏名	年齢	性別	世代	国名	県人会名
1	輝美 タバレス 玉寄 マリア エドゥアルダ TERUMI TAVARES TAMAYOSEMARIA EDUARDA	17	女	4世	ブラジル	ブラジル沖縄県人会
2	与儀 ウイリアン 勇貴 YOGI WILLIAN YUKI	15	男	2世		
3	新里 友三 イルトン 鈴木 SHINZATO SUZUKI YUZO HILTON	16	男	3世		カンボグランデ沖縄県人会
4	大城 エリカ クリスティナ OSHIRO ERIKA CRISTINA	16	女	3世	アルゼンチン	在亜沖縄県人連合会
5	呉屋 パウラ ダニエラ GOYA PAULA DANIELA	17	女	3世		
6	喜久山 愛理 AIRI KIKUYAMA	17	女	2世	ボリビア	ボリビア沖縄県人会
7	カナシロ ナカミネ カルロス ヤスヒデ KANASHIRO NAKAMINE CARLOS YASUhide	16	男	3世	ペルー	ペルー沖縄県人会
8	ムラタ ウエズ ナミエ エリカ MURATA UEZU MAMIE ERIKA	13	女	3世		
9	ペレス ギューラー 日出美 PEREZ GUERRA HIDE MI	13	女	4世	メキシコ	メキシコ沖縄県人会
10	フォンテス ゴンザレス キレイ FONTES GONZALEZ KIREY	16	女	4世	キューバ	青年の島県人会
11	ケイ ジュリア アン KAYE JULIA ANNE	15	女	2世	アメリカ	ミシガン沖縄県人会
12	パニス ロバート ケネス PANIS ROBERT KENNETH	16	男	3世		北米沖縄県人会
13	山城 カイル アレフ YAMASHIRO KYLE ALEPH	15	男	4世		コロラド州沖縄県人会
14	伊佐 プラトニック リアナ ISA LIANA	16	女	2世		サンフランシスコ沖縄県人会
15	当銘 紀沙 HISA KRISTINA TOUME	17	女	2世		ニューヨーク沖縄県人会
16	喜久山 ユキ YUKI KIKUYAMA	17	女	3世		フロリダ沖縄県人会(がじゅまる会)
17	ボロウス ジェシー ケンタ BURROUGHS JESSEY KENTA	16	男	2世		
18	比嘉 マッケンジー サチ HIGA MACKENZIE SATCHI	14	男	4世	カナダ	トロント球陽会
19	ハリデー 葉月 クイン HALLIDAY HAZUKI QUINN	15	男	2世		
20	中山 ローベルト 拓也 NAKAYAMA ROBERT TAKUYA	14	男	2世	ドイツ	ドイツ沖縄県人会
21	ボナヴァンチュール オロール BONAVENTURE AURORE	15	女	5世	ニューカレドニア	ニューカレドニア沖縄県系人会

海外引率者名簿

	氏名	年齢	性別	世代	■名	県人会等名
1	呉屋 新城 春美 GOYA ARASHIRO HARUMI	57	女	世	ブラジル	ブラジル沖縄県人会
2	新垣 まゆみ ARAKAKI MAYUMI	33	女	2世	ボリビア	ボリビア沖縄県人会
3	ゴンザレス 石川 ロベルト GONZALEZ ISHIKAWA ROBERTO	35	男	3世	キューバ	キューバ沖縄県人会
4	喜久山 イヴァン KIKUYAMA IVAN	27	男	3世	アメリカ	ジョージア琉球郷友会
5	中山 聡 NAKAYAMA SATOSHI	51	男	1世	ドイツ	ドイツ沖縄県人会

県内参加者名簿

	氏 名	年 齢	性 別	学 校 名	
1	山城 金太郎	KINTARO YAMASHIRO	14	男	伊江中学校
2	小那覇 祐希	YUKI ONAHA	12	女	古蔵中学校
3	神里 阿侑香	AYUKA KAMIZATO	14	女	南西中学校
4	仲村 デーニー	DANNY NAKAMURA	13	男	名護中学校
5	新里 陽菜子	HINAKO SHINZATO	12	女	伊波中学校
6	眞榮城 駿	SHUN MAESHIRO	17	男	真和志高校
7	新崎 仁雄	JINYU ARASAKI	17	男	沖縄尚学高校
8	花澤 千裕	CHIHIRO HANAZAWA	17	女	伊良部高校
9	玉城 瑠璃	RURI TAMASHIRO	17	女	糸満高校
10	徳本 りさ	RISA TOKUMOTO	17	女	那覇商業高校
11	玉城 理沙	RISA TAMAKI	17	女	首里高校
12	名嘉真美咲	MISAKI NAKAMA	18	女	浦添高校
13	宮平 優想	YU MIYAHIRA	17	女	那覇商業高校
14	安里 久美子	KUMIKO ASATO	16	女	西原高校
15	新垣 玲央菜	REONA ARAKAKI	16	女	中部商業高校
16	仲里 なつき	NATSUKI NAKAZATO	15	女	陽明高校
17	普天間 友美	TOMOMI FUTENMA	16	女	首里東高校
18	ブースクリ 満理奈	MARINA BOUSCKRI	15	女	沖縄尚学高校

平成21年度 海外参加者名簿

海外参加者名簿

	氏名	年齢	性別	世代	国名	県人会名			
1	仲宗根 グスタヴォ 学 NAKASONE GUSUTAVO MANABU	17	男	2世	ブラジル	ブラジル沖縄県人会			
	翁長 セーリア 美和 ONAGA CELIA MIWA						16	女	3世
安中 安慶名 レシチア アケミ YASUNAKA AGUENA LETICIA AKEMI	15	女	3世	カンポグランデ沖縄県人会					
4	小池 エドアルド 直征 KOIKE EDUARDO ERNESTO	17	男	3世		アルゼンチン	在亜沖縄県人連合会		
	仲宗根 ニコラス 啓 NAKASONE NICOLAS CRISTIAN							18	男
中村 利沙 RISA NAKAMURA	14	女	3世	ボリビア					
7	宮城 仲本 治至 ディエゴ MIYAGUSUKU NAKAMOTO HARUYUKI DIEGO	17	男	4世	ペルー			ペルー沖縄県人会	
	安座間 平良 キオミ クラウディア AZAMA TAIRA KIOMI CLAUDIA								14
エステラ ロサノ 仲程 ESTELA LOZANO NAKAHODO	14	女	4世	メキシコ		メキシコ沖縄県人会			
10	ウエンディ ロイス タマキ WENDY LOYS TAMAKI	18	女	4世	キューバ	キューバ沖縄県人会			
	座喜味 ケリ アン キミコ ZAKIMI KELLI ANN KIMIKO						17	女	4世
新垣 有紀 YUKI SHINGAKI	17	男	2世	北米沖縄県人会					
13	カティア ヒミコ リベラ RIVERA KATIYA	15	女	2世	アメリカ	ジョージア琉球郷友会			
	真喜志 直美 NAOMI MAKISHI						15	女	2世
ルーク マイケル ライル LUKE MICHAEL RYLE	17	男	3世	インディアナ沖縄県人会					
16	ジェシカ ダニエル ブラック BLACK JESSICA DANIELLE	16	女	3世			アメリカ	フロリダ沖縄県人会 (がじゅまる会)	
	親川 愛 AI OYAKAWA								16
レカイユ ユキ アンドレア LECAILLE YUKI ANDREA	18	女	4世	ニューカレドニア					

海外引率者名簿

	氏名	年齢	性別	世代	国名	県人会等名
1	与儀 哲雄 YOGUI TETSUI	69	男	2世	ブラジル	ブラジル沖縄県人会
	弘中 山城 ルイス フェルナンド HIRONAKA YAMAGUSUKU LUIS FERNANDO					
ナカソネ ソニア マリア NAKASONE SONIA MARIA	50	女	2世	キューバ	キューバ沖縄県人会	
4	米盛 克之 KATSUYUKI YONEMORI	37	男	1世	アメリカ	ジョージア琉球郷友会

平成20年度 県内参加者名簿

県内参加者名簿

	氏 名	年 齢	性 別	学 校 名	
1	宮 里 明衣子	MIYAZATO MEIKO	14	女	伊江中学校
2	下 門 楓	SHIMOJO KAEDE	13	女	潮平中学校
3	福 里 那 央	FUKUZATO NAO	14	男	高江洲中学校
4	豊 里 源	TOYOZATO GEN	13	男	那覇中学校
5	豊 永 優 姫	TOYONAGA YUKI	17	女	コザ高等学校
6	新 垣 美 樹	ARAKAKI MIKI	17	女	開邦高等学校
7	酒 井 知 奈	SAKAI CHINA	16	女	那覇高等学校
8	村 田 ゆうこ	MURATA YUKO	15	女	那覇西高等学校
9	花 城 亜紀子	HANASHIRO AKIKO	16	女	那覇西高等学校
10	玉那覇 祐利香	TAMANAHA YURIKA	17	女	西原高等学校
11	宜 保 有 樹	GIBO YUKI	17	男	中部農林高等学校
12	池 村 愛 美	IKEMURA AIMI	16	女	豊見城高等学校
13	友 利 麻 羽	TOMORI MAU	16	女	首里東高等学校
14	新 城 祥 子	ARASHIRO SHOKO	17	女	八重山高等学校
15	兼 城 凜 子	KANESHIRO RIKO	16	女	首里高等学校

平成20年度 海外参加者名簿

海外参加者名簿

	氏名	年齢	性別	世代	国名	県人会名		
1	天久 レニラ 阿弓 AMEKU LENIRA AYUMI	15	女	2世	ブラジル	ブラジル沖縄県人会		
	与那嶺 モニカ 多美 YONAMINE MONICA TAMMY							
2	中馬 渡慶次 カーレン TIGUMAN TOKESHI KAREN	18	女	4世			アルゼンチン	在亜沖縄県人連合会
	名城 エベリン マルセラ NASHIRO EVELYN MARCELA							
3	饒平名 さゆり YOHENA SAYURI	17	女	3世		ペルー		
	安座間 上地 カテリーネ 直未 AZAMA UECHI KATHERINE NAOMI							
4	島袋 里菜 SHIMABUKURO RINA	14	女	3世	ボリビア	ボリビア沖縄県人会		
	ガルシア ウエマ ダニエル GARCIA UYEMA DANIEL							
5	森部 マーシ 美幸 MORIBE MARCIE MIYUKI	15	女	4世	キューバ	キューバ沖縄県人会		
	上運天 クリスティーナ アイ UEUNTEN CHRISTINA AI							
6	ウィレット ザックリー WILLETT ZACHARY	13	男	2世			アメリカ	ハワイ沖縄連合会
	チョ アレクサンダー ディ ジン CHO ALEXANDER DAE JIN							
7	山城 清光昭 ブレット YAMASHIRO BRETT ALEXANDER	16	男	4世				
	福里 友理 FUKUZATO YURI							
8	ヴォニティシ ゼノキ モルガン ファビエラ テレーズ VONITHSI-ZENOKI MORGANE FABIELLA THERESE	19	女	4世	マレーシア	マレーシア沖縄会		
	ニューカレドニア ニューカレドニア沖縄日系人会							

海外引率者名簿

	氏名	年齢	性別	世代	国名	県人会等名
1	垣花 輝明 KAKINOHANA KIMEI	67	男	2世	ブラジル	ブラジル沖縄県人会
	大城 ディエゴ セバスティアン OSHIRO DIEGO SEBASTIAN					
2	サンチェス タマキ ロベルト SANCHEZ TAMAKI ROBERTO	44	男	3世	アルゼンチン	ボリビア沖縄県人会
	キューバ ペルー沖縄県人会					
3	稲福 紀子 INAFUKU NORIKO	24	女	1世	アメリカ	ワシントン州沖縄県人クラブ
	小出 友視 KOIDE TOMOMI					
4	ニューカレドニア 沖縄ニューカレドニア友好協会		女		ニューカレドニア	

県内参加者名簿

	氏 名	年齢	性別	学 校 名
1	粟 國 志 帆 AGUNI SHIHO	14	女	真和志中学校
2	金 城 華 奈 子 KINJO KANAKO	13	女	潮平中学校
3	宮 城 玲 奈 MIYAGI RENA	13	女	美里中学校
4	安 里 翼 ASATO TATSUMI	14	女	与那原中学校
5	玉 城 美 耶 子 TAMAKI MIYAKO	16	女	那覇西高等学校
6	上 間 瑞 樹 UEMA MIZUKI	17	女	開邦高等学校
7	与那覇 智 都 YONAHA CHISATO	16	女	開邦高等学校
8	瑞慶山 美 咲 ZUKEYAMA MISAKI	17	女	コザ高等学校
9	宮 城 聖 乃 MIYAGI SYONO	15	女	コザ高等学校
10	狩 俣 友 恵 KARIMATA TOMOE	17	女	宮古高等学校
11	上 原 善 男 UEHARA YOSHIO	21	男	南部工業高等学校
12	宮 城 和 哉 MIYAGI KAZUYA	18	男	西原高等学校
13	川 満 大 祐 KAWAMITSU DAISUKE	17	男	西原高等学校
14	岸 本 りいま KISHIMOTO RIIMA	16	女	宜野湾高等学校
15	許 田 侑 加 KYODA YUKA	18	女	興南高等学校
16	源 河 花 乃 子 GENKA KANOKO	17	女	首里高等学校
17	宇 座 愛 希 UZA AIKI	15	女	浦添高等学校

平成19年度 海外参加者名簿

海外参加者名簿

	氏名	年齢	性別	世代	国名	県人会名			
1	宮里 賢征	17	男	3世	ブラジル	ブラジル沖縄県人会			
	MIYAZATO UETA MAURY MASSAYUKI								
2	上江洲 小百合 シルビア	15	女	4世			ブラジル	ブラジル沖縄県人会	
	UESU SILVIA SAYURI								
3	ヴィヴィアネ ユミ ハラサキ	17	女	3世		ブラジル			カンポグランデ沖縄県人会
	VIVIANA YUMI HARASAKI								
4	新城 パブロ アリエル	18	男	4世	アルゼンチン			在亜沖縄県人連合会	
	PABLO ARIEL ARAGUSUKU								
5	仲宗根 ゆかり	17	女	2世			アルゼンチン		在亜沖縄県人連合会
	YUKARI NAKASONE								
6	真栄城 仲宗根 カリーナ 初江	17	女	3世		ペルー			
	KARINA HATSUE MAESHIRO NAKASONE								
7	伊佐 与儀 幸子 カロリーナ	16	女	3世	ペルー			ペルー沖縄県人会	
	SACHIKO CAROLINA ISA YOGUI								
8	大城 広大	13	男	3世		ボリビア	ボリビア沖縄県人会		
	KODAI OSHIRO								
9	クダカ 美咲	15	女	3世	ボリビア			ボリビア沖縄県人会	
	MISAKI KUDAKA								
10	ジャスティン トヨサト	13	男	4世		アメリカ	北米沖縄県人会		
	JUSTIN TOYOSATO								
11	麗矢 マーロウ	14	女	2世	アメリカ		コロラド州沖縄県人会		
	LAIYA MARLOW								
12	マケラ レネー コール	17	女	3世			アメリカ	アトランタ沖縄県人会	
	MICHAELA RENE COLE								
13	トモコ レネー レオナード	17	女	2世		アメリカ		インディアナ沖縄県人会	
	TOMOKO RENEE LEONARD								
14	クリスティーナ チハル ヘンリー	17	女	2世	アメリカ			スペースコースト沖縄県人会 ゆいまーる会	
	CHRISTINA CHIHARU HENRY								
15	ジョシュア マイケル キャンベル	15	男	4世			カナダ	レスブリッジ沖縄県人会	
	JOSHUA MICHAEL CAMPBELL								
16	クリスチアン サン	18	男	3世		フィリピン	フィリピン沖縄県人会		
	MACALINTAL CHRISTIAN SANTOS								
17	比嘉 紀乃	14	女	2世	ドイツ	ドイツ沖縄県人会			
	KOTONO HIGA								

海外引率者名簿

	氏名	年齢	性別	世代	国名	県人会名
1	カネシロ ジョゼ マツオ	56	男	2世	ブラジル	ブラジル沖縄県人会
	KANESHIRO JOSE MATSUO					
2	儀間 いつ子	30	女	2世	ボリビア	ボリビア沖縄県人会
	ITSUKO GIMA					
3	城間 呉屋 カリーナ ジセーレ	27	女	3世	ペルー	ペルー沖縄県人会
	KARINA GISSELLE SHIROMA GOYA					
4	マユミ マーレイン コール	48	女	2世	アメリカ	アトランタ沖縄県人会
	MAYUMI MARLENE COLE					

平成18年度 県内参加者名簿

県内参加者名簿

	氏 名	学年	性別	学 校 名	
1	国吉明奈	KUNIYOSHI MEINA	3	女	中城村立中城中学校
2	久手堅憲稀	KUDEKEN NORIKI	3	男	西原町立西原東中学校
3	比嘉夏海	HIGA NATSUMI	3	女	浦添市立浦添中学校
4	富名腰彩乃	FUNAKOSHI AYANO	3	女	那覇市立首里中学校
5	豊見山佐妃	TOMIYAMA SAKI	3	女	那覇市立松島中学校
6	前里雅	MAESATO MIYABI	3	女	那覇市立松島中学校
7	中村春葵	NAKAMURA HARUKI	3	女	豊見城市立長嶺中学校
8	与坂勇姬	YOSAKA YUKI	1	女	南城市立玉城中学校
9	比嘉美幸	HIGA MISAKI	3	女	与那原町立与那原中学校
10	崎原佑介	SAKIHARA YUSUKE	3	男	与那原町立与那原中学校
11	島袋正志	SHIMABUKURO MASASHI	1	男	多良間村立多良間中学校
12	諸見正太	MOROMI SHOTA	3	男	石川高等学校
13	津波義弥	TSUHA YOSHIYA	3	男	北谷高等学校
14	山内祐奈	YAMAUCHI YUUNA	3	女	普天間高等学校
15	喜納亜沙美	KINA ASAMI	3	女	普天間高等学校
16	川節奈那	KAWASETSU NANA	3	女	西原高等学校
17	屋比久まり	YABIKU MARI	3	女	浦添工業高等学校
18	運天美由紀	UNTEN MIYUKI	3	女	浦添工業高等学校
19	池原ななえ	IKEHARA NANAE	3	女	那覇国際高等学校
20	上間もえみ	UEMA MOEMI	3	女	那覇国際高等学校
21	狩俣彩乃	KARIMATA AYANO	1	女	首里高等学校
22	久貝博文	KUGAI HIROFUMI	1	男	小禄高等学校
23	大城ひろか	OSHIRO HIROKA	2	女	那覇西高等学校
24	岩田彩	IWATA AYA	1	女	那覇西高等学校
25	稲福奈実子	INAFUKU NAMIKO	3	女	那覇商業高等学校
26	城田麻莉亜	SHIROTA MARIA	3	女	那覇商業高等学校
27	謝敷アリー二	JASHIKI ALINI	1	女	沖縄尚学高等学校
28	宮城若名	MIYAGI WAKANA	2	女	沖縄女子短期大学附属高等学校
29	下地由芙子	SHIMOJI YUFUKO	2	女	開邦高等学校
30	照屋美友貴	TERUYA MIYUKI	2	女	知念高等学校
31	糸数舞	ITOKAZU MAI	2	女	知念高等学校
32	金城将吾	KINJO SHOGO	3	男	糸満高等学校
33	平良優圭	TAIRA YUKA	3	女	久米島高等学校

海外参加者名簿

	氏 名	性別	世代	■名	県 人 会 名								
1	ガブリエレ エリ 比嘉	女	2世	ブラジル	ブラジル沖縄県人会								
	GABRIELLE ERY HIGA												
2	カリナ イズミ 具志堅	女	3世			ブラジル	ブラジル沖縄県人会						
	KARINA IZUMI GUSHIKEN												
3	カレン ユミ 宮城	女	4世					ブラジル	ブラジル沖縄県人会				
	KAREN YUMI MIYASHIRO												
4	レチシア チエミ 高良	女	3世		ブラジル					ブラジル沖縄県人会			
	LETICIA TIEMI TAKARA												
5	マリオ セルジオ いさお 小波津	男	3世			ブラジル	カンボグランデ沖縄県人会						
	MARIO SERGIO ISSAO KOHATSU												
6	レナタ ちえみ 城間	女	3世	ブラジル				カンボグランデ沖縄県人会					
	RENATA TIEMI SHIROMA												
7	宮平 レオナルド マルティン	男	2世		アルゼンチン				在亜沖縄県人連合会				
	LEONARDO MARTIN MIYAHIRA												
8	新垣 あかね	女	1世			アルゼンチン	在亜沖縄県人連合会						
	AKANE ARAKAKI												
9	喜納 パウラ ミカエラ ミユキ	女	3世	アルゼンチン				在亜沖縄県人連合会					
	PAULA MICAELA KINA												
10	新垣 金城 ジーミ ホルヘ	男	4世							アルゼンチン	在亜沖縄県人連合会		
	JIMMY JORGE ARAKAKI KANASHIRO												
11	具志堅 大城 ガブリエラ イサベル	女	3世									ペルー	ペルー沖縄県人会
	GABRIELA ISABEL GUSHIKEN OSHIRO												
12	渡嘉敷 国頭 ダニエラ	女	4世		ペルー				ペルー沖縄県人会				
	DANIELA TOKASHIKI KUNIGAMI												
13	比嘉 さゆり	女	3世			ペルー	ペルー沖縄県人会						
	SAYURI HIGA												
14	眞榮城 弥生	女	3世	ペルー				ペルー沖縄県人会					
	YAYOI MAESHIRO												
15	安里 健	男	2世		ペルー				ペルー沖縄県人会				
	KEN ASATO												
16	ホカマ 栄	男	3世			ペルー	ペルー沖縄県人会						
	SAKAE HOKAMA												
17	イダルゴ カネド フランシスコ エイジ	男	4世	メキシコ				メキシコ沖縄県人会					
	FRANCISCO EILLY HIDALGO CANEDO												
18	キヨミ トレス ゴンザレス	女	4世	キューバ	キューバ沖縄県人会								
	KIYOMI TORRES GONZALEZ												
19	高田 シャンテル 真由美	女	5世	アメリカ	ハワイ沖縄連合会								
	CHANTELLE MAYUMI TAKATA												
20	ダニエル マコトバンバード	男	2世	アメリカ	北米沖縄県人会								
	DANIEL MAKOTO BOMBARD												
21	又吉 まりこ リン	女	2世	アメリカ	北カリフォルニア沖縄県人会								
	MARIKO LYN MATAYOSHI												

平成18年度 海外参加者名簿

海外参加者名簿

19	高田 シャンテル 真由美 CHANTELLE MAYUMI TAKATA	女	5世	アメリカ	ハワイ沖縄連合会	
20	ダニエル マコト バンバード DANIEL MAKOTO BOMBARD	男	2世		北米沖縄県人会	
21	又吉 まりこ リン MARIKO LYN MATAYOSHI	女	2世		北カリフォルニア沖縄県人会	
22	ウエットセル ミッシェル ケイ MICHELLE KEIKO WHETSELL	女	2世		ワシントン州沖縄県人クラブ	
23	デイトン アレン シュレハイン DALE ALLEN SCHLEHLEIN III	男	3世		中西部沖縄県人会	
24	アシュレイ 紀子 シャンクス ASHLEY KIKO SHANKLES	女	2世		ニューメキシコ沖縄県人会	
25	イアン トーマス ダグラス IAN THOMAS DOUGLAS	男	3世		ニューヨーク沖縄県人会	
26	フェングラー 美花 MIKA LEILANI FENGLER	女	2世		アトランタ沖縄県人会	
27	アшлиー ブルック シングルトン ASHLIE BROOKE SHINGLETON	女	3世		ジャクソンビル沖縄県人会	
28	クリストファー ジェフリー エドワーズ CHRISTOPHER JEFFREY EDWARDS	男	2世		ミシガン沖縄県人会	
29	パターソン アンドリュー 義輝 ANDREW YOSHIKI PATTERSON	男	2世		カナダ	バンクーバー沖縄県友愛会
30	比嘉 史 NICHOLAS CHIKASHI HIGA	男	2世			トロント球陽会
31	ブライアン ビア ヤキテン YAQUITEN BRYAN MEJIA	男	3世	フィリピン	フィリピン沖縄県人会	
32	比嘉 麻耶 MAYA HIGA	女	2世	マレーシア	マレーシア沖縄会	
33	石垣 幸夫 SACHIO LUCIAN ISHIGAKI	男	2世	イギリス	イギリス沖縄県人会	
34	石垣 優児 YUJI ISHIGAKI	男	2世			

海外引率者名簿

	氏名	性別	世代	国名	県人会名
1	与儀 上原 昭雄 AKEO UEHARA YOGUI	男	2世	ブラジル	ブラジル沖縄県人会
2	譜久原 アントニオ FUKUHARA ANTONIO	男	3世	ペルー	ペルー沖縄県人会
3	イノウエ 悦子 ETSUKO INOUE	女	2世	ボリビア	ボリビア沖縄県人会
4	ジュリエッタ フォンテ 伊波 JULIETA FONTE IHA	女	3世	キューバ	キューバ沖縄県人会
5	ジャネット 亜希子 山内 JANET AKIKO YAMAUCHI	女	2世	アメリカ	北米沖縄県人会
6	上原 さやか SAYAKA UEHARA	女	1世	アメリカ	ニューヨーク沖縄県人会

県内参加者名簿

	氏 名	年齢	性別	学 校 名	
1	具志堅 靖 知	GUSHIKEN YASUTOMO	14	男	沖縄市立コザ中学校
2	城間 ひかる	SHIROMA HIKARU	14	女	那覇市立石嶺中学校
3	伊 地 侃 海	ICHI TADAMI	14	男	与那原町立与那原中学校
4	又 吉 奈保子	MATAYOSHI NAOKO	14	女	石垣市立伊原間中学校
5	金 城 千 尋	KINJO CHIHIRO	16	女	北部工業高等学校
6	幸 地 長 治	KOUCHI CHOUJI	16	男	名護高等学校
7	金 城 エリナ	KINJO ERINA	17	女	読谷高等学校
8	大 城 奈 々	OSHIRO NANA	17	女	具志川高等学校
9	玉 城 美 優	TAMAKI MIYU	18	女	具志川高等学校
10	山 城 杏 奈	YAMASHIRO ANNA	16	女	普天間高等学校
11	宇 根 あみ菜	UNE AMINA	17	女	浦添高等学校
12	大 城 李理子	OSHIRO RIRIKO	15	女	那覇高等学校
13	斉 藤 愛 里	SAITO AIRI	16	女	那覇国際高等学校
14	又 吉 扶	MATAYOSHI TASUKU	17	男	那覇国際高等学校
15	上 原 麻 衣	UEHARA MAI	15	女	小禄高等学校
16	小那覇 祥 子	ONAHA SHOKO	16	女	豊見城高等学校
17	番 園 亨	BANZONO TORU	16	男	糸満高等学校
18	翁 長 琴 乃	ONAGA KOTONO	17	女	久米島高等学校
19	伊良部 夏 美	IRABU NATSUMI	18	女	宮古工業高等学校

平成17年度 海外参加者名簿

海外参加者名簿

	氏 名	性別	世代	国名	県人会名		
1	大城 直美 マヤラ	女	2世	ブラジル	ブラジル沖縄県人会		
	MAYARA NAOMI DE ALCANTARA OSHIRO						
2	宮城 明子 ベアトリス	女	3世		アルゼンチン	カンボグランデ沖縄県人会	
	BEATRIZ AKIKO MIYASHIRO						
3	川波 エンリッケ ケンジ	男	3世			アルゼンチン	在亜沖縄県人連合会
	HENRIQUE KENJI KAWANAMI						
4	屋宜 宣広 アレハンドロ	男	3世	ペルー			ペルー沖縄県人会
	ALEJANDRO DANIEL YAGI						
5	岸本 ユカリ	女	1世		アメリカ		北米沖縄県人会
	YUKARI KISHIMOTO						
6	仲里 国頭 エミ カロリーナ	女	4世			アメリカ	ユタ州沖縄県人会
	EMY CAROLINA NAKASATO KUNIGAMI						
7	亀甲 亀甲 たかし アレハンドロ	男	3世	アメリカ			ワシントンD C沖縄県人会
	TAKASHI ALEJANDRO KAMEGO KAMEKO						
8	親川 千草 カサンドラ	女	3世		カナダ		レスブリッジ沖縄県人会
	CHIGUSA CASANDRA OYAKAWA						
9	ジャンニ ブラジル	女	3世			フィリピン	フィリピン沖縄県人会
	JANNY BRASIL TAMASHIRO						
10	ヤマシロ ミッシェル	女	4世	イギリス			イギリス沖縄県人会
	MICHELLE ALEXANDRA YAMASHIRO						
11	イタリアーノ チャンス ケンイチ	男	1世		イギリス		イギリス沖縄県人会
	CHANCE KENICHI ITALIANO						
12	イーズリー マケーナ ヴィカーシャ	女	2世			イギリス	イギリス沖縄県人会
	MCKENNA VIKASHAA EASLEY						
13	ラックエル 笑美 コンドン	女	3世	イギリス			イギリス沖縄県人会
	RAQUEL EMI CONDON						
14	クリストファー ジョシア ワールターズ	男	3世		イギリス		イギリス沖縄県人会
	CHRISTOPHER JOSHUA WALTERS						
15	ジョーダン カミオ サワダ	男	4世			イギリス	イギリス沖縄県人会
	JORDAN KAMIO SAWADA						
16	ジャスミン マリー ドフレド デ ヘスス	女	3世	イギリス			イギリス沖縄県人会
	JASMINE MARIE DE JESUS						
17	ゴンザレス 優子 エリザベス	女	2世		イギリス		イギリス沖縄県人会
	YUKO ELIZABETH GONZALES						

海外引率者名簿

	氏 名	性別	世代	国名	県人会名
1	松堂 忠顕	男	1世	ブラジル	ブラジル沖縄県人会
	CHUKEN MATSUDO				
2	新里 ファビアナ カルメン	女	2世	アルゼンチン	在亜沖縄県人連合会
	FABIANA CARMEN SHINZATO				
3	安座間 喜屋武 シェイラー パトリシア	女	3世	ペルー	ペルー沖縄県人会
	SHEILLAH PATRICIA AZAMA KIYAN				
4	牧志 啓和	男	1世	アメリカ	ユタ州沖縄県人会
	HIROKAZU MAKISHI				
5	伊敷 久子	女	1世	イギリス	イギリス沖縄県人会
	HISAKO ISHIKI				

平成16年度 県内参加者名簿

県内参加者名簿

	氏 名	年齢	性別	学 校 名
1	棚 原 琴 希 TANAHARA KOTOKI	14	女	宜野湾市立宜野湾中学校
2	糸 数 梨 乃 ITOKAZU RINO	13	女	那覇市立小禄中学校
3	国 吉 美 樹 KUNIYOSHI MIKI	14	女	久米島町立具志川中学校
4	高 原 茉 奈 TAKAHARA MANA	14	女	平良市立平良中学校
5	前上里 李衣奈 MAEUEZATO LIINA	13	女	石垣市立伊原間中学校
6	幸 地 美 琴 KOUCHI MIKOTO	17	女	名護高等学校
7	平 良 楨 子 TAIRA MAKIKO	17	女	石川高等学校
8	小 谷 仁 人 KOTANI KIMIHITO	17	男	石川高等学校
9	池 原 春 奈 IKEHARA HARUNA	18	女	読谷高等学校
10	又 吉 毅 MATAYOSHI TAKESHI	17	男	美里高等学校
11	上 原 唯 UEHARA YUI	18	女	球陽高等学校
12	崎 濱 優 希 SAKIHAMA YUUKI	18	女	与勝高等学校
13	沖 吉 ハンナ OKIYOSHI HANNA	16	女	普天間高等学校
14	運 天 美 里 UNTEN MISATO	16	女	首里高等学校
15	久銘次 美奈江 KUMEJI MINAE	16	女	那覇国際高等学校
16	謝敷 エミリー JASHIKI EMILY	16	女	那覇国際高等学校
17	金 城 のぞみ KINJOU NOZOMI	17	女	那覇西高等学校
18	許 田 卓 史 KYODA TAKAFUMI	18	男	興南高等学校
19	金 憲 禎 KIM HUNJUNG	16	男	沖縄尚学高等学校
20	細 田 愛 HOSODA MANA	15	女	豊見城高等学校

海外参加者名簿

	氏 名	性別	世代	国名	県 人 会 名
1	比嘉 理恵 デボラ DEBORA LIE HIGA	女	3世	ブラジル	ブラジル沖縄県人会
2	知念 まゆみ クリスチーナ CRISTINA MAYUMI CHINEN	女	2世		
3	城間 ロドリーゴ シゲイロ RODRIGO SHIGUEIRO SIROMA	男	3世		カンボグランデ沖縄県人会
4	又吉 アンドレス MATAYOSHI ANDRES PABLO	男	3世	アルゼンチン	在亜沖縄県人連合会
5	米須 ノルマ ビルヒニア KOMESU NORMA VIRGINIA	女	3世		
6	エスコバル 伊礼 ジョアナ エツコ ESCOBAR YREY JOHANNA ETSUKO	女	4世	ペルー	ペルー沖縄県人会
7	比嘉 シンボ エリック ハビエル HIGA SHIMBO ERIC JAVIER	男	3世		
8	中村 稲嶺 真由美 NAKAMURA INAMINE MAYUMI	女	2世	ボリビア	ボリビア沖縄県人会
9	新垣 サトル ARAKAKI SATORU	男	2世		
10	サユリ ゴンザレス ナカソネ GONZALEZ NAKASONE SAYURI	女	3世	キューバ	キューバ沖縄県人会
11	ミッシェル ミヨリ パニス PANIS MICHELLE MIYORI	女	3世	アメリカ	沖米沖縄県人会
12	ウィリアム ウォルター ストレリー STRALEY WILLIAM WALTER	男	2世		ペンサコーラ沖縄県人会
13	コラオ クリスタル CORRAO CRYSTAL MARIE	女	2世		シカゴ沖縄県人会
14	新城 アントニ 大陸男 ARASHIRO ANTHONY MUTSUO	男	2世		サンディエゴ沖縄県人会
15	ジェシー・マイ カイアオ ア カマラニ・ホリ HORI JESSIE MAI KAI AO A KAMALANI	女	4世		ハワイ沖縄連合会
16	喜久川 可奈 KIKUKAWA KANA	女	1世	カナダ	バンクーバー沖縄県友愛会
17	レンド ジャン ボニファシヨ BONIFACIO RHEND JAN	男	3世	フィリピン	フィリピン沖縄県人会

海外引率者名簿

	氏 名	性別	世代	国名	県人会名
1	与儀 上原 昭雄	男	2世	ブラジル	ブラジル沖縄県人会
2	新垣 アリエル	男	2世	アルゼンチン	在亜沖縄県人連合会
3	松田 美津江	女	2世	ペルー	ペルー沖縄県人会
4	ミユキ イトカズ モラレス	女	3世	キューバ	キューバ沖縄県人会
5	光江 上原 コーチ	女	1世	アメリカ	シカゴ沖縄県人会

平成15年度 県内参加者名簿

県内参加者名簿

	氏 名	年齢	性別	学 校 名	
1	宮 本 詩 織	Miyamoto Shiori	12	女	港川中学校
2	島 袋 希	Shimabukuro Nozomi	15	女	首里中学校
3	山 城 貴 徳	Yamashiro Takanori	14	男	糸満中学校
4	比 屋 根 安 尚	Hiyane Yasunao	13	男	南星中学校
5	長 嶺 一 司	Nagamine Kazushi	13	男	南星中学校
6	古 波 蔵 直 子	Kohagura Naoko	14	女	南星中学校
7	比 嘉 淳 子	Higa Junko	18	女	八重山農林高等学校
8	吉 村 苑 華	Yoshimura Sonoka	17	女	読谷高等学校
9	高 良 南	Takara Minami	18	女	球陽高等学校
10	玉 城 幸	Tamaki Miyuki	17	女	浦添高等学校
11	安次富 紗綾香	Ashitomi Sayaka	16	女	浦添商業高等学校
12	比 嘉 こ な み	Higa Konami	17	女	首里高等学校
13	安 里 み ち よ	Asato Michiyo	17	女	首里東高等学校
14	新 垣 怜 子	Arakaki Reiko	17	女	那覇高等学校
15	新 崎 奈 央	Arasaki Nao	17	女	那覇高等学校
16	前 田 那 美 子	Maeda Namiko	18	女	那覇国際高等学校
17	大 本 紗 哉	Ohmoto Saya	16	女	那覇国際高等学校
18	金 城 美 菜	Kinjo Mina	17	女	那覇商業高等学校
19	大 城 桃 香	Oshiro Momoka	16	女	沖縄尚学高等学校
20	真 栄 城 智 恵 美	Maesiro Chiemi	16	女	沖縄尚学高等学校
21	稲 福 陽 香	Inafuku Haruka	15	女	興南高等学校
22	村 吉 梨 華 子	Murayoshi Rikako	15	女	興南高等学校

県外内参加者名簿

	氏 名	年齢	性別	学 校 名	
1	金 城 幸 代	Kinjo Sachiyo	15	女	兵庫県立宝塚私立高司中学校
2	上 原 勝 也	Uehara Katsuya	17	男	兵庫県立宝塚高等学校
3	小 山 奈 未	Koyama Nami	18	女	日本福祉大学附属高等学校

平成15年度 海外参加者名簿

海外参加者名簿

	氏名	性別	世代	国名	県人会名	
1	新城 真由美 Monica Mayumi Arashiro	女	3世	ブラジル	ブラジル沖縄県人会	
	仲村 カロリーナ みどり Carolina Midori Nakamura					
2	新里 チエミ アンネ Anne Thiemy Suzuki Shinzato	女	3世		カンボグランデ沖縄県人会	
	井口 セシリア ミドリ Iguchi Cecilia Midori					
4	諸喜田 マリネ Shokida Marine	女	3世		アルゼンチン	在亜沖縄県人連合会
	仲本 山城 ダニエラ Nakamoto Yamagusuku Daniella					
6	渡慶次 山城 マリア ガブリエラ Tokeshi Yamagusuku Maria Gabriela	女	3世	ペルー	ペルー沖縄県人会	
	神谷 ナオミ Kamiya Pedraza Naomi					
8	比嘉 浩二 Higa Koji	男	2世	ボリビア	ボリビア沖縄県人会	
	アレマン レオナルド ホルヘ エルネスト Aleman Leonard Jorge Ernesto					
10	キャサレン アーヌ シロマ Katharine Anne Shiroma	女	4世	アメリカ	ハワイ沖縄県人会	
	タイ ジン コバシガワ Ty Jin Kobashigawa					
12	玉城 由美 Tamashiro Yumi	女	2世		北米沖縄県人会	
	柳田 コリン タケシ Yanagida Colin Takeshi					
14	アシュリー フリック Ashley Frick	女	3世		ワシントン州沖縄県人会	
	仲原 オリバー 竜司 Nakahara Oliver Ryoji					
16	ディナマエ エロイ リエゴ Llego Dinahmae Eroy	女	3世	フィリピン	フィリピン沖縄県人会	
	パトリシア レジーナ ノセダ ロペス Lopez Patricia Resyna Noceda					
18	レドナ ジェニファー 祐紀 Redona Jennifer Yuki	女	3世	アメリカ	グアム沖縄県人会	

海外引率者名簿

	氏名	性別	世代	国名	県人会名
1	屋富祖 正一	男	1世	ブラジル	カンボグランデ沖縄県人会
2	安座間 平敷 ファン 喜勝	男	3世	ペルー	ペルー沖縄県人会
3	比嘉 次雄	男	1世	ボリビア	ボリビア沖縄県人会
4	上間 大兼久 ホルヘ	男	2世	キューバ	キューバ沖縄県人会
5	タランティニ 裕子 伊波	女	1世	アメリカ	北米沖縄県人会
6	曾野 知雄	男	2世		ニューヨーク沖縄県人会
7	島袋 カオル ネイディー	女	2世	フィリピン	ハワイ沖縄県人会
8	アセルデン マリア コラソン エバンヘリオ	女	2世		フィリピン沖縄県人会
9	奥濱 レドナ 悦子	女		アメリカ	グアム沖縄県人会

平成14年度 県内参加者名簿

県内参加者名簿

	氏 名	年齢	性別	学 校 名	
1	宮 里 諒 哉	Ryoya Miyazato	15	男	名護市立大宮中学校
2	奥 間 友里恵	Yurie Okuma	14	女	金武町立金武中学校
3	與那城 美姫乃	Mikino Yonashiro	12	女	沖縄市立安慶田中学校
4	伊良波 一 美	Kazumi Iraha	14	女	沖縄市立山内中学校
5	嘉 数 真 菜	Mana Kakazu	13	女	浦添市立浦西中学校
6	比 嘉 麻 臣	Asami Higa	13	女	那覇市立松城中学校
7	平 敷 綾	Aya Heshiki	15	女	那覇市立小禄中学校
8	山 城 信 裕	Nobuhiro Yamashiro	14	男	与那原町立与那原中学校
9	杉 山 星 河	Seika Sugiyama	12	女	豊見城市立伊良波中学校
10	川 平 一 之	Kazuyuki Kawahira	14	男	城辺町立福嶺中学校
11	宮 城 聖里香	Serika Miyagi	17	女	辺土名高等学校
12	大 城 奈津紀	Natsuki Ohshiro	16	女	石川高等学校
13	山 城 夢 乃	Yumeno Yamashiro	15	女	美里高等学校
14	宮 里 あすか	Asuka Miyazato	17	女	宜野湾高等学校
15	嵩 本 哲 也	Tetsuya Takemoto	16	男	西原高等学校
16	西 筋 理 奈	Rina Irisuji	15	女	那覇高等学校
17	玉 城 智 佳	Chika Tamaki	18	女	沖縄女子短大附属高等学校
18	國 場 雄 作	Yusaku Kokuba	16	男	豊見城高等学校
19	又 吉 香穂利	Kahori Matayoshi	15	女	糸満高等学校
20	石 井 雄 大	Takehiro Ishii	17	男	八重山高等学校

県外内参加者名簿

	氏 名	年齢	性別	学 校 名	
1	川 崎 麻奈美	Manami Kawasaki	13	女	鶴見中学校
2	金 城 香 奈	Kana Kinjo	13	女	鶴見中学校
3	與那嶺 美 香	Mika Yonamine	12	女	大阪市立天下茶屋中学校
4	糸 洲 久美子	Kumiko Itosu	17	女	明浄学院高等学校

平成14年度 海外参加者名簿

海外参加者名簿

	氏名	性別	世代	国名	県人会名
1	当間 嗣栄 マウリシオ Mauricio Shiei Touma	男	4世	ブラジル	ブラジル 沖縄県人会
2	高良 グラウシヤ ネンシー Glaucia Nancy Takara	女	3世		
3	志良堂 ジャケリネ Jacqueline Shirado	女	4世		カンボグランデ 沖縄県人会
4	米須 トマス Tomas Komesu	男	2世	アルゼンチン	在亜沖縄県人 連合会
5	島袋 エリアーナ ビルヒーニア Eliana Virginia Shimabukuro	女	3世		
6	広中 山城 ルイス フェルナンド Luis Fernando Hironaka Yamagusuku	男	4世	ペルー	ペルー 沖縄県人会
7	ゴンザレス 平良 ハイメ Jaime Gonzales Taira	男	3世		
8	仲里 秋奈 Akina Nakazato	女	2世	ボリビア	ボリビア 沖縄県人会
9	ロニー ヴェレス 真栄城 Rony Velez Maeshiro	男	3世		
10	ナリマンピーニャ フォンテ Narryman Piña Fonte	女	4世	キューバ	キューバ 沖縄県人会
11	清本・伊倉良 マツシユ 誠 Matthew Makoto Kiyomoto-Isara	男	4世	アメリカ	ハワイ 沖縄県人会
12	伊良波 クリストファー マイケル Christopher Michael Iraha	男	4世		
13	比嘉 クリスティン ミヨシ Cristan Miyoshi Higa	女	4世		北米 沖縄県人会
14	パウチャー 飛鳥 Asuka Christine Boutcher	女	2世		ワシントンD.C. 沖縄会
15	ジョナサン サンダース Johnathan David Saunders	男	3世		アトランタ 沖縄県人会
16	ジョセフ リー バザード Joseph Lee Buzzard	男	3世		北加 沖縄県人会
17	藤田 エリザベス 由利子 Elizabeth Yuriko Fujita	女	2世		カナダ
18	ミシェル アベダニア ペベニト Michelle Abedania Pebenito	女	3世	フィリピン	フィリピン 沖縄県人会
19	ジョネロベス コメロス イグナシオ Jonerobeth Comeros Ignacio	女	3世		
20	照屋 なつ子 Natsuko Teruya	女	2世	シンガポール	星琉会

海外引率者名簿

	氏名	性別	世代	国名	県人会名
1	具志堅 ジーナ 美千代	女	2世	ブラジル	ブラジル沖縄県人会
2	新里 ダニエル エステバン	男	2世	アルゼンチン	在亜沖縄県人連合会
3	赤嶺 光弘	男	1世	ペルー	ペルー沖縄県人会
4	エステル タマキ トーレス	女	3世	キューバ	キューバ沖縄県人会
5	呉屋 君子	女	1世	アメリカ	北米沖縄県人会
6	大城 順市	男	1世		北加沖縄県人会
7	藤田 みどり	女	1世	カナダ	トロント球陽会
8	エステーラ アレホ アドルフォ	女	2世	フィリピン	フィリピン沖縄県人会
9	橋本 真理	女	1世	シンガポール	星琉会

平成13年度 県内参加者名簿

県内参加者名簿

	氏名	学年	性別	学校名	
1	知名倫子	Rinko China	小学4年	女	宜野座小学校
2	仲田尚仁	Naohito Nakada	小学4年	男	南風原小学校
3	又吉椎菜	Shiina Matayoshi	小学5年	女	漢那小学校
4	平良久美子	KuIniko Taira	小学5年	女	志真志小学校
5	仲本達郎	Tatsuro Nakalnote	小学5年	男	城西小学校
6	新垣史織	Shiori Arakaki	小学5年	女	知念小学校
7	目取真輔	Tasuku Medoruma	小学5年	男	北玉小学校
8	城間祥大	Shoudai Shiroma	小学6年	男	若狭小学校
9	照屋寛佳	Hiroyoshi Teruya	小学6年	男	城南小学校
10	玉城匠	Takumi Tainaki	中学1年	男	コザ中学校
11	知 ^心 鈴奈	Suzuna Chinen	中学1年	女	伊江中学校
12	仲間良成	Yoshinari Nakama	中学1年	男	越来中学校
13	牧山梨紗	Risa Makiyama	中学1年	女	沖繩尚学中学校
14	仲程祐介	Yusuke Nakahodo	中学1年	男	古蔵中学校
15	成底徹	Toru Narisoko	中学1年	男	港川中学校
16	仲里彩夏	Ayaka Nakazato	中学1年	女	知念中学校
17	屋嘉比梢	Kozue Yakabi	中学1年	女	東風平中学校
18	玉城彩衣	Ai Tamaki	中学1年	女	那覇中学校
19	松本佳子	Yoshiko Matsunoto	中学1年	女	那覇中学校
20	東江真理子	Mariko Agarie	中学2年	女	伊江中学校
21	与那嶺悠	Haruka Yonamine	中学2年	男	伊良波中学校
22	古謝ちひろ	Chihiro Koja	中学2年	女	嘉手納中学校
23	比 ^喜 紗苗	Sanae Higa	中学2年	女	鏡が丘養護学校
24	仲程若菜	Wakana Nakahodo	中学2年	女	古蔵中学校
25	平田吉郎	Yoshiro Hirata	中学2年	男	佐敷中学校
26	比嘉彩賀	Ayaka Higa	中学2年	女	松城中学校
27	比嘉亜樹	Aki Higa	中学2年	女	興南中学校
28	古堅葵	Aoi Furugen	中学3年	女	安田中学校
29	佐久川俊介	Shunsuke Sakugawa	中学3年	男	沖繩尚学中学校
30	謝花千夏	Chinatsu Jahana	中学3年	女	宮里中学校
31	普天間一樹	Kazuki Futenma	中学3年	男	小禄中学校
32	玉那覇優香	Yuka Tamanaha	中学3年	女	西原東中学校
33	宮城鮎子	Ayuko Mayagi	中学3年	女	西原東中学校
34	高田真奈美	Manami Takada	高校1年	女	小禄高等学校
35	翁長里美	Satomi Onaga	高校1年	女	小禄高等学校
36	上原恵理佳	Erika Uehara	高校1年	女	昭和薬科大学附属高等学校
37	与那覇恵梨	Eri Yonaha	高校1年	女	石川高等学校
38	德里麗華	Reika Tokuzato	高校1年	女	石川高等学校
39	中村晴枝	Harue Nakamura	高校1年	女	那覇国際高等学校
40	伊計美希	Miki Ikei	高校2年	女	宮古高等学校
41	仲宗根智世	Tomoyo Nakasone	高校2年	女	宮古農林高等学校
42	佐久田智世	Tomoyo Sakuda	高校2年	女	宮古農林高等学校
43	川口真未	Mami Kawaguchi	高校2年	女	首里東高等学校
44	池原理一	Riichi Ikehara	高校2年	男	普天間高等学校
45	宝蔵寺祐司	Yuji Hozoji	高校2年	男	普天間高等学校
46	仲間明奈	Akina Nakama	高校3年	女	宮古高等学校
47	余 ^二 畑美加	Mika Chabata	高校3年	女	小禄高等学校
48	新崎舞	Mai Arasaki	高校3年	女	小禄高等学校
49	比屋根恵美	Megumi Hiyane	高校3年	女	南風原高等学校
50	真謝絵美	Emi Maja	高校3年	女	名護高等学校

平成13年度 海外参加者名簿

海外参加者名簿

	氏名	性別	国名	県人会名	引率者
1	与儀 エリカ ERIKA YOGI	女	ブラジル	ブラジル沖縄県人会	松堂 ひろみ
2	太田 チオゴ DIOGO TAKAKE OTA	男			
3	知花 ムリロ MURILLO CHIBANA	男			
4	諸見里 春美 KARINEHARUMI MOROMIZATO	女			
5	崎間 ビクトル 達由鯉 VICTORTA TSUYURI SAKIMA	男			
6	宮里 昌宏 MARCELO MASAHIRO MIYAZATO UETA	男			
7	宮城 ガストン GASTON MIYASHIRO	男	アルゼンチン	在亜沖縄県人連合会	安里エステラ アレハンドラ
8	比嘉 フェルナルド FERNANDO EZEQUIEL HIGA	男			
9	玉那覇 ノルベルト NORBERTO TAMANAHA	男			
10	大城 ノエリア NOELIA OSHIRO	女			
11	伊芸 ヘラルド GERALDO IGEI KOHATSU	男	ペルー	ペルー沖縄県人会	仲宗根 吉修
12	亀甲 マサル MASARU ARTURO KAMEGO	男			
13	山城 イサベル ISABEL YAMASHIRO NAKACHI	女			
14	比嘉 盛繁 HECIOR ALEXANDER HIGA SHIROMA	男			
15	比嘉 恵理子 ERIKO CAROLINA HIGA YAMASHIRO	女	ボリビア	ボリビア沖縄県人会	安谷屋 敬
16	大城 ニカリ NIKARI OSHIRO MURARA	女			
17	中田 弘喜 FERNANDO HIROKI NAKATA	男			
18	仲村 美恵子 MIEKO NAKAMURA SOKEI	女	メキシコ	メキシコ沖縄県人会	中村 イルマ ヌネス
19	仲村 ミツオ JOSE MITSUO NAKAMURA OROZCO	男			
20	仲村 ヤスヒロ YASUHIRO NAKAMURA OROZCO	男	ブラジル	カンボグランデ沖縄県人会	具志堅 弘
21	島田 バグネル 和良 WAGNER KAZUYOSHI SHIMADA	男			
22	具志堅 ノブユキ ANDERSON NOBUYUKI GUSHIKEN	男	ベネズエラ	ベネズエラ沖縄県人会	古謝 いそえ
23	古謝 景士 RAUL KEISHI KOJA	男			
24	宜保 亜由美 カレン AYUMI KAREN GIBO	女	カナダ	バンクーバー沖縄友愛会	仲宗根 功
25	嶺井 真実 MELISSA MAMI MINEI	女			

平成13年度 海外参加者名簿

海外参加者名簿

26	金城 茜 MARGARET AKANE KINJO	女	カナダ	レスブリッジ沖縄県人会	浦崎 ジョージ	
27	目取真 ジャネル ミホコ JANELLE MIHOKO MEDORUMA	女				
28	玉栄 チャールズ CHARLES MASATOMO TAMAE	男	アメリカ	北米沖縄県人会	前田 洋子 (北米沖縄県人会)	
29	ジョセフ ジョーンズ JOSEPH FREDRIC JONES	男		サンディエゴ沖縄県人会		
30	ブライアン デイビス BRYAN KIYOSHI DAVIS	男		ユタ州沖縄県人会		
31	デイビット レイモンド DAVID RICHARD RAYMOND	男		ワシントン沖縄県人会クラブ		トシコ バートリー
32	アリシア 恵子 ブレンズ ALICIA KEIKO BERENZ	女		シカゴ沖縄県人会		
33	テイル リチャーズ DALE KAORU RICHARDS	男		遊友会		
34	ティファニー フィドラー TIFFANY FIEDLER	女	アメリカ	オハイオ 沖縄友の会	洋子 サンダリン (シカゴ沖縄県人会)	
35	比嘉 龍児 RYUJI HIGA	男		米国東海岸沖縄県人会		
36	落合 北斗 HOKUTO CREIG OCHIAI	男		ニューヨーク沖縄県人会		
37	ロバート ファンチェス ROBERT JAMES FUNCHES	男		ワシントンDC沖縄県人会		
38	ケイラ ケンプ KAYLA RENEE CAMP	女		アトランタ沖縄県人会	ルイス 高江洲 佳代子 (アトランタ沖縄県人会)	
39	アンディー ライダー ANDY KIYOSHI RIDER	男		D FW 沖縄県人会		
40	キム ビセット KIM BISSETTE	女		ジャクソンビル沖縄県人会		
41	マイケル ハーカー MICHAEL ALAN HARKA	男		フェイエットビル沖縄県人会		
42	クリスタル スワンソン CRYSTAL LYNN SWANSON	女		ベンサコーラ沖縄県人会		
43	テレサ マリコ モートン TERESA MARIKO MORTON	女		フロリダ沖縄友会(がじまる会)		
44	クリストファー ポーティン CRISTOPHER PORTIN	男		グアム沖縄県人会	引率者無し	
45	マリア ジェイリン ディキアツコ MA. JAYLYNC. DIQUIATCO	女	フィリピン	フィリピン沖縄県人会	トヨコ照屋エリセオ	
46	チヨミ サンタローサ ランセス CHIYOMI STA. ROSA RANCES	女				
47	嶋崎 妙恵美 TAEMI SHIMAZAKI	女				
48	知念 賢吾 KENGO CHINEN	男	フランス	フランス沖縄県人会	知念 睦子	
49	石垣 優児 YUJI JOE ISHIGAKI	男	イギリス	イギリス沖縄県人会	石垣 栄康	
50	松川 ルカ LUCA TOM MUSASHI MATSUKAWA	男	ドイツ	ドイツ沖縄県人会	松川 力	

